

● 骨子案の全体像

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
1	31	審議会からの提言書を見て、より詳しく成果や課題が理解できた。骨子案だから一定省略されているのだと思うが、計画を作成される際には、そのような課題認識や背景について、詳しく記載したほうがよいと感じる。	A	具体化
2	71	定数的な指標を頂きたいです。市民の市政参加が何%向上した場合、どんな効果がみられるのか。具体例を描くことで市政参加をすることのメリットがイメージしやすいです。	A	具体化
3	186	計画であるにもかかわらずいつまでに何を行うのか示されておらず、これならば計画というよりも方針というべきではないでしょうか。	A	具体化
4	187	各施策も、それぞれ具体的に何を行うのが例示されていないため、そもそも市民参加に馴染みのない多くの市民にとっては内容を理解することが難しいのではないのでしょうか。例えば、背景の説明であれば一般的な事柄だけではなく京都市における変化や課題を示すとか、施策であればこれにより何々ではこういうことができるようになりますよ、といったことが記載されれば、市民に身近に感じられる（到達）のではないかと思います。ぜひ改善をお願いします。	A	具体化
5	4	理念としては良いと思います。あとは具体策ですね。具体策がなければ進みません。今の市民の無関心さは、具体策がないことが原因だと思いますので、この計画の策定をきっかけに、ただのルーチンの計画更新ではなく、第1期、2期ではできなかったことを実施していただくことを望みます。	A	具体化
6	108	市政参加の仕組み自体をより多くの人に認知してもらうための様々なプロセスについて、詳しく記してはいかがでしょうか。そうすることで市政参加に対するイメージが湧きやすくなり、より参加する市民が増加するのではないかと思います。	B	具体化
7	117	全体像として、「広める」の具体案が薄いかなと思います。	B	具体化
8	201	具体的に何をするのか、何をすればいいのかわかるか	B	具体化
9	310	社会情勢の変化とともに目まぐるしく変わる情報・課題をより多くの市民と素早く共有するためには具体的にどのような取り組みが必要だと考えていますか？	B	具体化
10	189	既存の地域コミュニティである自治会、PTA、体振といったものが既に制度疲労を起こしていると思われる中で、京都市がそれらの仕組みを前提とした仕事を変わらずに行っていることの課題意識が見えないこと、市民参加の一つである議会との関係について何一つ触れられていないことについては疑問を感じます。市民参加、地域コミュニティの活性化を推進するに当たり、これらは大きな課題だと考えますので、京都市としてどう考え、取り組むのか、計画に明記することを希望します。	C	具体化
11	84	方針、施策内容は非常に良いものだと感じた。しかし現時点骨子案の状態よりももう少し具体性が高い状態になってからの方が議論が生まれより価値のある意見募集になるのではないかと感じた。	C	具体化
12	188	それぞれの施策を実施することによるプラスとマイナスの面が記載されていませんが、メリット・デメリットをそれぞれ踏まえたうえでの内容であることを示した方が、より政策的と言えるのではないのでしょうか。現在話題となっている財政難の課題についても同様ですが、行政にはそのような説明責任が求められるものと思います。	C	具体化

● 骨子案の全体像

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
13	357	意見募集が開始された後に、京都市長から行財政改革に係る方針が示されたことで、全体像も、少なからず修正されるもの、と考える。計画の上位に位置する京都市市民参加推進条例は、「市民の知恵と力を生かした市政及び個性豊かなまちづくりの推進に資すること」を目的としているが、京都市が破綻した場合、国の管理下に置かれることから、この目的を十分に達することはできない。したがって、全体像の中に、京都市そのものの持続性、という視点は追記せざるを得ないであろう。その際に、「市民の知恵と力を生かすこと」や「個性豊かなまちづくりの推進」が京都市の持続性のために必要、という構図が望ましい、と考える。財政難を理由に、多くの事業が中止・停止されようとしている。中には、「市民の知恵を力を生かし」「個性豊かなまちづくりの推進」のために、開始し、続けてきた事業も多い。そこで、中止・停止に際しても「市民と職員との対話」に基づき、信頼や学びにつなげていくことが必要であろう。となると、「京都市市民参加推進計画」の趣旨が、本計画の中にとどまるのではなく、京都市基本計画をはじめ、市の策定する諸計画や実施する各事業において、貫徹していることが求められる。計画の位置付けの図では、双方向の矢印が何を示しているのか、明示されていないため、単に、「お互い齟齬のないようにする」程度のものとも見える。もう少し踏み込んで、「お互いの趣旨を踏まえ、積極的に取り組む」程度の表現はできないか。	A	計画の方向性・期待
14	67	目指すべき「市民との協働」は市民と行政と一緒に課題を解決することである。この点は明確に記載しておくべきである。ワークショップを多く開催し、多くの市民に参加してもらうことをゴールに設定するのは間違い。どんなまちにしたいのか市民と一緒に考えた後、市民と一緒に汗を流して「形にする」ことをゴールとすべき。（行政の無駄使いとしてよく指摘されるようなイベント・ワークショップを開催し自己満足して終わりとしてしまってはダメ。成果を追求すべき。）	B	計画の方向性・期待
15	140	目を通した上で、共感と期待がありました。 例えば「withコロナ」対策など今の現状に沿った内容もあり、そこに私たち市民の市政参加の関わりの必要性も改めて感じました。	B	計画の方向性・期待
16	181	市民参加の仕組みは大きく整った今の時代に相応しい案だと思います。計画にせずとも、この骨子を多くの主体と共有して、「すそ野を広げる」「到達を重視」といったことを進められるよう取り組むことが大切だと思います。 シンプルですが心の通った内容だと思います。	B	計画の方向性・期待
17	184	市民協働に関する京都市の前向きな姿勢が十分に感じられるとともに、市民理解を前提に市政参加とまちづくり活動支援を軸とする基本方針を立てている点は構成として分かりやすく思いました。行政内や市民に浸透できるようがんばって取り組んでいただきたいと思えます。	B	計画の方向性・期待
18	202	デジタルの対応は本当に必要だと思う	B	計画の方向性・期待
19	30	第3期京都市市民参加推進計画が、選挙の投票率のアップや自治会活動の活性化に繋がることに期待します。	B	計画の方向性・期待
20	50	このような計画があるとは知りませんでした。みんなにも紹介したいと思います。	B	計画の方向性・期待

● 骨子案の全体像

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
21	55	良い計画ですね	B	計画の方向性・期待
22	194	市民参加については、ワークショップ等の手法論に依るものではなく、実質的な取組につなげていただきたい。	B	計画の方向性・期待
23	215	1頁「重視する視点3 協働による…挑戦」とあるが、「市民参加」自体が「コロナ禍」という事態で後退することなく、少なくとも条例で定められていることを市民・住民・職員が知り、活用することができていることを担保する仕組みづくりが必要である。そのために、現状の実態を検証し、結果が共有されることが必要であると考えます。「トライ・アンド・エラー」は「エラー」を直視しなければ、単なるやりっぱなしに転化する。	B	計画の方向性・期待
24	237	3話で出てきた市民のまちづくり活動に支援をするということに関心を持ちました。市民が京都を自らの手で作っていくという姿勢の後押しになっていいなと思いました。どんな市民のまちづくり活動があるのか、そして私のような子供でも参加できるのかが気になりました。	B	計画の方向性・期待
25	335	冊子1頁に「市民参加」は「市政参加」と「まちづくり活動」の2つを合わせたものという理念/概念が示されているが、その姿が思い浮かびにくい。例えば、「京都市民長寿すこやかプラン（案）」の41頁にあるような「コラム」で、上記2つが融合して成果を出している先進事例をいくつかの「政策分野」から示されると、イメージがしやすくなると思います。	B	計画の方向性・期待
26	338	カタカナが多い。どこかに注釈をつけないと全世代には伝わりにくいのではないかと。取り組み自体には賛同するが、実現へのハードルは高いように思える。役所の職員も最近派遣が多く、果たしてつながれるのかが疑問。今後ますますパブコメが充実し、本来の協働になるように祈ります。	B	計画の方向性・期待

● 骨子案の全体像

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
27	366	少子化問題という言葉聞いて、もう30年程経ちました。結婚も子供を持つこともしないまま月日が流れました。暗に結婚しろ、子供を持ってという誇大宣伝をテレビ等々で見るたびに、社会から殺される気持ちで疎外感があり、社会の役に立ちたいと思っても恐くてできないと思って来ました。若い頃から普通に生きることの難しさを感じ、もう疲れ果てて考える気力が無くなる時もあります。少子化は世界的に起こっています。動物の世界でも起こっています。環境問題や教育問題を考える時、少子化は必然で、少子化が悪い事、駄目な事という考えに共感できません。江戸時代の人口を考えても、今の人口は異常な多さです。人がまともに育っていないのに、少子化ばかり30年と言うのは愚劣です。独身者の尊厳を認めて下さい。今の社会の分断は、政治の荒廃があると思いますが、国民が政治に無関心なのが一番の悪だと思います。高学歴者は政治に意見する義務があるはずですが、1970年からのシラケ世代からの50年間ほぼ何もやってない。だから大学が無意味化し金ばかり追うようになったのです。ビジネスと政治は切っても切れませんが、日本でベンチャーが育たないのは政治の無関心と関係があると思います。まず、様々な政党や政治に意見を言える府民を育てるべきです。そうでなければ、国や東京や大阪等に振り回されて終わってしまいます。コロナ化の世界情勢を見ても、日本だけ国民の政治運動がありません。政治に無関心で行動しない民だらけの地域や国が栄えることはありません。でも日本には気軽に政治参加できる環境が見当たらないのも事実です。政治の情報発信力の強化、府民の考える力の強化と参加しやすい環境を作る必要があると思います。	C	計画の方向性・期待
28	42	実際に市政やまちづくりに参加した市民が、自分の意見が反映されたと実感しやすいような、直接的かつ明瞭なフィードバックがなされると、継続的な参加につながるのではないかと思います。	B	実感・手応え
29	69	職員は市内に閉じこもっていないか。市職員が市内のリアルな現場に頻りに顔を出し、様々な人と出会い、市民とともに汗を流すというのが「協働」ではないのか。市民に協力を呼び掛けるのもいいが、市職員ひとりひとりが地域へ深く関わる機会をつくることも大切。	A	職員・体制
30	193	区役所や行政自体がコーディネート役を果たすのならば、市職員ではないアドバイザーなどはより専門性の高い人材を求められると思う。	B	職員・体制
31	345	小学校の段階から 共に作り上げていく社会教育が必要だと感じます。	A	裾野拡大
32	150	私は今回の計画には、賛成である。というのも、市民が、主体的に行政に参加しやすくすることで、若者の行政参加数の増加が見込まれるからである。近年日本では、若者の政治離れなどと呼ばれるほど、今後の日本を担っていく私たち世代の選挙投票割合は低く、全体の三分の一以下であると言われている。今後の日本を担っていく若者が今後を左右する選挙に参加しなければ、行政は、いい方向に向いていかない、と私は思う。これは京都市も例外ではない。今回の計画により、行政への市民参加をよりしやすくするとともに、若者の行政参加も増加するのではないかと考えている。	B	裾野拡大
33	68	市民の主体性を引き出し、且つ継続して関わってもらうことが意味のある協働の鍵となるが、そのためには「楽しさ」が必要。言い換えると、「参加することが楽しい」と市民に感じてもらう限り、成果が出る協働を実現することは難しい。	B	裾野拡大
34	92	コロナ禍の社会においてはオンライン上での広告や発信、zoomなどのオンライン媒体を駆使した説明会をするなど、効果的であると考えます。	B	裾野拡大

● 骨子案の全体像

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
35	102	京都市市民参加推進計画の基本方針と施策構成について、「はじめる、つながる、ひろがる」のうちの「つながる」を大切にしてくと良いのではないかと思います。今、SNSなどが発達していて幅広い人とつながることは簡単なことのように思えますが、年代を幅広くつながることは簡単なことではないということが自分がSNSを使っていて実感しています。同じ京都市のことを考え、意見を交換するという目的があれば、みんな同じ目的をもっているわけなので、幅広い年代の人とつながりやすくなるのではないかなと感じました。年代が違うだけで、考え方や視点も異なるので、特に若い人にとっては有意義な価値観を交換できる場になるのではないかと考えます。そこからのつながりが京都市をより良くすることにつながり、政策が広がっていくのではないかと考えました。	B	裾野拡大
36	107	私は、今回の「第3期京都市市民参加推進計画 骨子案」について、重視する視点がとても適切なものであると感じます。より多くの市民が市政参加をしやすいようにする環境づくりを行おうとしている点にとっても好感を持ちました。その理由として、まず現段階では市政参加を行なっている絶対数自体が少なく、より良いまちづくりを行う上では意見が偏っている場合があるからです。	B	裾野拡大
37	309	若者の市民参加や市政への意識を変えるために今最も変えるべき仕組みはなんだと思いますか？	C	裾野拡大
38	416	市政参加、というから難しいようなイメージをもつと思うし、参加したい人は必ず居ると思うのでネーミングを馴染みやすいものにすればいいと思う。	C	裾野拡大
39	96	京都市市民参加推進計画において、「市民」の定義が示されておらず、純粋に京都市に住民票を持つ者に限定するのか、現住している者を対象にするのか、はたまた京都市に係る者すべてを対象にしているのか、明らかにすべきであると思料します。後者である場合は、明文化し広く市民参加を呼びかけ、推進すべきであると思料されます。	A	定義・文言・図
40	185	まちづくり、協働、市民力、地域力、SDGs、DXなど、行政にとっては当然でも一般にはまだまだ浸透していない言葉がかなり多く用いられ、読みづらく感じます。	A	定義・文言・図
41	192	「まちづくり」という言葉が氾濫しており、そもそもの定義がわかりにくい。まちを住みよくする活動全てを指すのか、どのような取組のことをイメージしているのか抽象的な印象を受ける。	A	定義・文言・図
42	265	まず、言葉が難しく理解できない場合があると思います。画面も変化がなくて単調なので聞き流してしまいます。この動画はどの世代向けに作られたんですか	A	定義・文言・図
43	343	長々とした文章ばかりでなく、図式等もあり、読みやすく工夫されていると思いました。但し コミュニティー、デザイン等は理解できますが、外来語（例えばファシリテーター、レジリエンス等々）や今時のICT等々、辞書引き引き出ないと 正確な理解ができません。	A	定義・文言・図
44	81	(骨子案の全体像について) 3つの基本方針の関係性がはじめのページで図を用いて示されているので、後の詳細を読むときに入りやすいですし、方向性が明確でとても分かりやすいです。また、施策の横に（市政参加×はじめる）とあるように、どこに該当する施策なのか繰り返し記載されているので、趣旨と具体的な活動目標をその都度照らし合わせることができて理解しやすいです。	A	定義・文言・図
45	119	全体像であるが、計画を推進する順番が図を使って描かれており、わかりやすい見た目となっている。	B	定義・文言・図

● 骨子案の全体像

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
46	147	重視する3つの視点がどれも明確で、どのような順序で推進していくのかがわかりやすく示されていると感じました。	B	定義・文言・図
47	153	基本方針の、市民との未来像・課題の共有に基づいたうえで、市民の市政への参加の推進や市民のまちづくり活動の活性化を行うという考え方が、わかりやすく素敵だなと感じました	B	定義・文言・図
48	331	見開き1ページに、全体像のプロットが分かりやすい。まず全体像を把握して細部に入るので、忙しい方にもアプローチしやすいと思う	B	定義・文言・図
49	332	市民参加と聞いてイメージする内容は人それぞれと思うので、「市政への参加」と「まちづくり活動」の2つですとしたことで、意図がよく伝わると思う。	B	定義・文言・図
50	360	全体像など図柄は分かりやすいと思います。市民に興味をもってもらえるデザインが市民参加を進めるうえで広報物やホームページに必要なだと思います。	B	定義・文言・図
51	450	冊子3頁に「計画の位置づけと計画期間」が示されており、「特に関りの深い計画」「各種政策分野別の推進計画」が示されているが、「第8期京都市民長寿すこやかプラン(案)」の詳細版24頁に「京都市版地域包括ケアシステムのイメージ」が示されており、又、同23頁に「目指すべき地域包括とは?」とある。「目指すべき姿」は、市民(住民)一人ひとりが、市政とまちづくりに積極的に関わっている姿であると考えるので、「京都市民長寿すこやかプラン」も「各政策分野別の推進計画」に示されてもよいように考える。	B	定義・文言・図
52	86	第三回京都市市民参加推進計画骨子案についてのyoutube動画が惜しいなと私は感じました。結論から述べると、具体例をあげるなどの、どの世代にもわかりやすいコンテンツにすることです。私は、非常にわかりやすいと感じましたがこの動画を小学生が見た時に少し難しい単語や小学生が理解できなさそうな単語があったので理解できないと思います。この改善の目的は若者の市民参加や京都への理解の向上です。日本人は自分が知らないことや無知なことに関してはとっつきにくく非常にネガティブなイメージを抱きやすいです。その例が日本のLGBT問題です。日本の教育では性教育の内容が非常に薄く、性的マイノリティについての教育は皆無に等しいといってもいいだろう。そのように幼い頃から無知な者に対してネガティブな印象をもっていることは生きていく上でよく目にする光景です。実際、日本では性的マイノリティ当事者に対して罵ったり、差別的な扱いをしています。なので、せっかく小学生も見ることができ小学生の利用頻度の高いツールであるyoutubeに動画を投稿するならば、そのような偏見を打破できる可能性または市民参加などについてネガティブなイメージを持つ子供たちが1人でも減らすことのできるいい機会になるかもしれないので、子供でもわかりやすいような具体例などを取り入れるべきである。	C	定義・文言・図
53	245	この計画がどう言うものなのか全体的なものはわかり、自分自身もこの活動に参加できると知ったが、難しい言葉が多くて理解しにくかったので、動画内でも図やグラフも使っていけばいいと思います。	C	定義・文言・図
54	41	生活に余裕がなかったり、参加に必要な知識や人的、金銭的資源が整っているとはいえない市民の意見も、市政やまちづくりに反映できるような工夫がなされるとよりよいと考えます。 具体的には、親しみやすく身近な困りごととリンクした情報発信、また庶民的かつ社会的課題にも関わるようなコンテンツを発信しているインフルエンサーと呼ばれる人との協働も有効なのではと感じています。(子育て世代の課題を対象するなら、助産師ユーチューバーといわれる方も参考にされると面白そうだなと思います。)	A	未来像・課題の共有

● 骨子案の全体像

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
55	29	<p>基本方針2「市民の市政への参画」や基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」を実現させるには、骨子案のとおり基本方針1「市民との未来像・課題の共有」が必要不可欠です。</p> <p>しかし、「市民」と「行政」、「職員」の間で自分ごと、みんなごと、考えるポイント、今しか見ない視点などあらゆる点の洗い出し及び共有が全くできていない現状がある中、骨子案では、基本方針2と基本方針3に重点を置いているように思います。</p> <p>「市民」と「職員」を焚き付け、未来志向で話し合える場や描き、語らえる場の創出。特に「市民」主体で取り組める一手を望みます。</p>	B	未来像・課題の共有
56	158	<p>第三期京都市市民参加推進計画骨子案をみるに、「協働」という言葉がキーワードになっている。街づくりに興味を持ってもらうということを前提にしたプロジェクトには、みんなで住む街をみんなで作るという部分が根幹になっている。そのため、三つの基本方針の一角として掲げられる「市民の未来像・課題の共有」という点で市と市民の意志共有を行うことは理にかなっており、共同で街を育てるという明確な目標が見える。この理念を軸に突き進むことは京都をよりよくすることとして必要だ。</p>	B	未来像・課題の共有
57	344	<p>この様な立派な冊子が隔々にまで行き渡る工夫、例えば役所に『置いてある』のではなく、様々な用事で来られた方に『声かけしながら渡す』とか、隔々の方まで浸透した市政運営づくりの方法をとって頂きたい思います。</p>	B	未来像・課題の共有
58	269	<p>YouTubeだけではまだまだ認知度が低いと思います。どうやっていろんな人に知ってもらおうと考えていますか。</p>	C	未来像・課題の共有
59	291	<p>今、達成できていないと思うSDGsの課題はありますか？</p>	C	その他
60	327	<p>観光都市として、この数年間国内外問わず京都には多額のお金が落ちているにもかかわらず財政難になっている原因が何なのかの検証されていない。併せて古都税導入の復活を提案する。大規模寺院・神社からの税金徴収すべき。</p>	D	その他

I 計画の位置づけと計画期間

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
1	357	意見募集が開始された後に、京都市長から行財政改革に係る方針が示されたことで、全体像も、少なからず修正されるもの、と考える。計画の上位に位置する京都市市民参加推進条例は、「市民の知恵と力を生かした市政及び個性豊かなまちづくりの推進に資すること」を目的としているが、京都市が破綻した場合、国の管理下に置かれることから、この目的を十分に達することはできない。したがって、全体像の中に、京都市そのものの持続性、という視点は追記せざるを得ないであろう。その際に、「市民の知恵と力を生かすこと」や「個性豊かなまちづくりの推進」が京都市の持続性のために必要、という構図が望ましい、と考える。財政難を理由に、多くの事業が中止・停止されようとしている。中には、「市民の知恵と力を生かし」「個性豊かなまちづくりの推進」のために、開始し、続けてきた事業も多い。そこで、中止・停止に際しても「市民と職員との対話」に基づき、信頼や学びにつなげていくことが必要であろう。となると、「京都市市民参加推進計画」の趣旨が、本計画の中にとどまるのではなく、京都市基本計画をはじめ、市の策定する諸計画や実施する各事業において、貫徹していることが求められる。計画の位置付けの図では、双方向の矢印が何を示しているのか、明示されていないため、単に、「お互い齟齬のないようにする」程度のものとも見える。もう少し踏み込んで、「お互いの趣旨を踏まえ、積極的に取り組む」程度の表現はできないか。	A	計画の方向性・期待
2	127	内容がはっきりわかるのと募集期間をちょうどいい期間でとっているので、たくさんの様々な方向からの意見が集まるのではないかと思うので良いとおもう。	B	計画の方向性・期待
3	30	第3期京都市市民参加推進計画が、選挙の投票率のアップや自治会活動の活性化に繋がることに期待します。	B	計画の方向性・期待
4	50	このような計画があるとは知りませんでした。みんなにも紹介したいと思います。	B	計画の方向性・期待
5	102	京都市市民参加推進計画の基本方針と施策構成について、「はじめる、つながる、ひろがる」のうちの「つながる」を大切にしてくと良いのではないかと思います。今、SNSなどが発達していて幅広い人とつながることは簡単なことのように思えますが、年代を幅広くつながることは簡単なことではないということが自分がSNSを使っていて実感しています。同じ京都市のことを考え、意見を交換するという目的があれば、みんな同じ目的をもっているわけなので、幅広い年代の人とつながりやすくなるのではないかなと感じました。年代が違うだけで、考え方や視点も異なるので、特に若い人にとっては有意義な価値観を交換できる場になるのではないかと考えます。そこからのつながりが京都市をより良くすることにつながり、政策が広がっていくのではないかと考えました。	B	裾野拡大
6	120	個人的には世界文化自由都市宣言やレジリエンス戦略など一般的には認知されていない単語が押し出されているのが伝わらないのではないかと感じた。「はばたけ未来！京プラン」を中心とした推進はわかりやすく理解することができる。	A	定義・文言・図
7	160	より時期を明確にすることによって、市民がより計画に対してイメージを沸かせやすいと感じる。	C	定義・文言・図

II 社会情勢の変化

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
1	134	3の社会情勢の変化や4の策定のポイントで示されたコロナ禍における新しい生活様式への対応や、人口の1割に相当する学生を活かす方法に関して、具体的な施策としてはそれぞれ施策12と施策7が対応するのでしょうか？だとすれば、自分が学生だからというのもあるのですが、より焦点を当てたような施策があれば嬉しいなと感じました。	A	具体化
2	108	市政参加の仕組み自体をより多くの人に認知してもらうための様々なプロセスについて、詳しく記してはいかがでしょうか。そうすることで市政参加に対するイメージが湧きやすくなり、より参加する市民が増加するのではないかと思います。	B	具体化
3	333	3期計画は、前期までと何が変わらなくて何が変わるのかを伝えてはどうか。社会情勢の変化を踏まえて示せば、より今日的な意義が伝わり、共感を呼ぶのではないかと。	A	計画の方向性・期待
4	357	意見募集が開始された後に、京都市長から行財政改革に係る方針が示されたことで、全体像も、少なからず修正されるもの、と考える。計画の上位に位置する京都市市民参加推進条例は、「市民の知恵と力を生かした市政及び個性豊かなまちづくりの推進に資すること」を目的としているが、京都市が破綻した場合、国の管理下に置かれることから、この目的を十分に達することはできない。したがって、全体像の中に、京都市そのものの持続性、という視点は追記せざるを得ないであろう。その際に、「市民の知恵と力を生かすこと」や「個性豊かなまちづくりの推進」が京都市の持続性のために必要、という構図が望ましい、と考える。財政難を理由に、多くの事業が中止・停止されようとしている。中には、「市民の知恵を力を生かし」「個性豊かなまちづくりの推進」のために、開始し、続けてきた事業も多い。そこで、中止・停止に際しても「市民と職員との対話」に基づき、信頼や学びにつなげていくことが必要であろう。となると、「京都市市民参加推進計画」の趣旨が、本計画の中にとどまるのではなく、京都市基本計画をはじめ、市の策定する諸計画や実施する各事業において、貫徹していることが求められる。計画の位置付けの図では、双方向の矢印が何を示しているのか、明示されていないため、単に、「お互い齟齬のないようにする」程度のものとも見える。もう少し踏み込んで、「お互いの趣旨を踏まえ、積極的に取り組む」程度の表現はできないか。	A	計画の方向性・期待
5	16	コロナで人とのつながりを大切さを実感する。今こそ繋がりづくりを支援したり、繋がりを強化することが必要だと思う。	B	計画の方向性・期待
6	17	コロナで人とのつながりがなくなって不安。今だから誰かとつながりたいし、まちづくりは目的が共有できると思う。市政参加も含め、メニューが沢山あればいいと思う。	B	計画の方向性・期待
7	18	コロナで状況が変わる今は、計画で事業を固めきるのではなく、より多くの人と共有できる考え方や理想を示し、柔軟に対応出来るものにしてほしい。	B	計画の方向性・期待
8	79	パートナーシップや協働の重要性が訴えられている中でSDGsを背景とした多様な主体の参画促進を行うことは地域だけでなく社会の課題への活動意欲を高めるもので素晴らしいと思いました。	B	計画の方向性・期待

II 社会情勢の変化

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
9	93	少子高齢化の進行や地球温暖化、自然災害の発生など社会や環境が変化していき、社会課題は複雑化・多様化している。新型コロナウイルスは、社会経済活動に大きな影響を及ぼし、ウィズコロナ社会、ポストコロナ社会における新しい生活スタイルや働き方の変化など、変革への新たな動きが生まれはじめ、これからさらに必要になってくるため社会情勢の変化への取り組みを地域コミュニティでも始めていく必要があると思った。	B	計画の方向性・期待
10	110	骨子案で特に重要視している学びや信頼を育む対話の推進、次世代につながる市民参加の裾野の拡大、協働による課題解決への挑戦は私自身も今最も必要だと考えていたので一致しています。	B	計画の方向性・期待
11	118	この計画において5年前から社会情勢の変化が取り上げられています。今回の新型コロナウイルスの蔓延に対してどのような取り組みができるのか、また、どのような効果を及ぼすことができるのかは、これからの計画策定において、重要な基準になりうると思うので、期待しています。	B	計画の方向性・期待
12	136	社会はめまぐるしく変化するのでその変化に合わせるより対応することが出来る柔軟な体制が必要であると考えられます。なのでパートナーシップや協働といったところに着目することで全体で社会情勢に対応する力をつける意思が感じ取れました。	B	計画の方向性・期待
13	140	目を通した上で、共感と期待がありました。 例えば「withコロナ」対策など今の現状に沿った内容もあり、そこに私たち市民の市政参加の関わり必要性も改めて感じました。	B	計画の方向性・期待
14	145	社会情勢の変化に柔軟に対応していくことが今後の社会の中で重要視されていくことであると考えているので、市政参加の中でも、「Society 5.0」やデジタル・トランスフォーメーション（DX）への取り組みも示唆してよかった。	B	計画の方向性・期待
15	146	取り組みの施策の中でオープンイノベーションや、オープンガバナンスといった、近年の流行をも取り入れており、流行への感度の高さも感じられた。	B	計画の方向性・期待
16	12	コロナで事業の限界や行き詰まりが見えてくる中、新たな事業展開を考える必要があるが、ニーズがあるところにビジネスの種がある。社会の課題はその宝庫だと思うので、行政との連携は、社会課題の解決だけでなく、新たなビジネスの創出にも役立つと考える。	B	計画の方向性・期待
17	131	今まで市民参加について考えたことははっきり言って無かった。しかし、コロナウイルスが蔓延してから、京都市がどのような対策を取るのかが気になった。おそらく、多くの方がウイルスに対する対策や保証を気にしているだろう。これをチャンスにし、市民の意見をより取り入れられる良い機会だと考える。世の中が変わりつつある今だからこそ、コロナ渦、また、コロナが収束した先のことまで意見を採れるのではないかと思う。	B	計画の方向性・期待
18	137	私個人の意見としましては生活にAIやデジタルを取り入れるところにより力を入れていただきたいです。日本でも兵庫県加古川市のようにデータを活用し子育てに力を入れていただきます。今後世界の動きもそのようになると考えられますので観光地だからこそ世界に遅れを取らないというところを力を入れていただきたいです。その上で京都らしさと融合させた町はとても魅力的であると考えられます。	B	計画の方向性・期待
19	202	デジタルの対応は本当に必要だと思う	B	計画の方向性・期待

II 社会情勢の変化

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
20	211	新しい言葉や活動にみんながついていけるような活動になることを願っています。	B	計画の方向性・期待
21	215	1頁「重視する視点3 協働による…挑戦」とあるが、「市民参加」自体が「コロナ禍」という事態で後退することなく、少なくとも条例で定められていることを市民・住民・職員が知り、活用することができていることを担保する仕組みづくりが必要である。そのため、現状の実態を検証し、結果が共有されることが必要であると考え。「トライ・アンド・エラー」は「エラー」を直視しなければ、単なるやりっぱなしに転化する。	B	計画の方向性・期待
22	296	理想の街づくりにおいてみんなで協力していくことが大事だとわかった。自分の意見がどんなふうに形にしてもらえるか気になる。	B	計画の方向性・期待
23	358	この1年間の市政を見ていると、「市民との対話」という観点では、以下の事例が示すように、明らかに後退している。 <ul style="list-style-type: none"> ・市長への手紙の対応を一時的に停止し（そのこと自体はやむを得ないと思うが）、停止の周知も再開の周知も、極めて不十分であったこと。 ・市役所内部の情報共有不足により、市民への説明が不十分となっている案件が多いこと ・「問い合わせ先」が明記されていない広報が増えたこと ・オフラインの場が制限されたことについて、代替手法の展開が十分ではないこと ・各局・区の運営方針が策定・公表されなくなること また、「行財政改革」という観点では、原理的に市民参加が制限されやすい。 （そもそも地方自治における直接請求の対象外の分野） とすると、本計画の中で、さらなる後退の懸念を払拭する具体的な手法がほしい。	B	計画の方向性・期待
24	56	市役所と組んでソーシャルな仕事をしたいです。	C	計画の方向性・期待
25	157	少子高齢化や地球温暖化、社会的孤立という言葉はよく耳にしますが、多くの人はそれらを改善すべきだと考えながらも行動に移すことは少ないです。これらの課題によって自分たちの身近に起こる不利益なことをイメージできず、どこか他人事のように考えていることが原因だと思います。そのため、現状の課題を改善できなかった場合に起こりえる問題を人々に伝えることが重要ではないかと感じます。ポスターなどで市政参加を呼び掛けるときには、人々の身に起こる身近な問題点を強調して示し、一緒に改善を目指しましょう！という風にすれば動き出す人が増えるのではないかと思います。	C	計画の方向性・期待
26	161	社会変化の情勢変化について、骨子案にも書かれてもいましたが今年は非常にコロナウイルスに左右された年になりました。ただ、今回のことで分かったこともあります。例えば、対面営業店などの脆さです。コロナを乗り越えたとしても今後また新たな疫病が流行らないとは限りませんし、震災などでまた対面での仕事を行えない日が来るかもしれません。そういった時に対して、対面店の補填やオンライン指導等の対策案をもっと具体的にしておいた方がいいかもしれません。もっと具体的かつ効果的な支援を行える様、また万が一失敗しても後腐れがないように支援に関することに焦点をおいたパブリックコメントを集めるのも良いかもしれません。	C	計画の方向性・期待

II 社会情勢の変化

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
27	212	コロナだけではなく、感染症に強い市民協働の在り方も今後検討してください。	C	計画の方向性・期待
28	366	<p>少子化問題という言葉聞いて、もう30年程経ちました。結婚も子供を持つこともしないまま月日が流れました。暗に結婚しろ、子供を持ってという誇大宣伝をテレビ等々で見るたびに、社会から殺される気持ちで疎外感があり、社会の役に立ちたいと思っても恐くてできないと思って来ました。若い頃から普通に生きることの難しさを感じ、もう疲れ果てて考える気力が無くなる時もあります。少子化は世界的に起こっています。動物の世界でも起こっています。環境問題や教育問題を考える時、少子化は必然で、少子化が悪い事、駄目な事という考えに共感できません。江戸時代の人口を考えても、今の人口は異常な多さです。人がまともに育っていないのに、少子化ばかり30年と言うのは愚劣です。独身者の尊厳を認めて下さい。今の社会の分断は、政治の荒廃があると思いますが、国民が政治に無関心なのが一番の悪だと思えます。高学歴者は政治に意見する義務があるはずですが、1970年からのシラケ世代からの50年間ほぼ何もやってない。だから大学が無意味化し金ばかり追うようになったのです。ビジネスと政治は切っても切れませんが、日本でベンチャーが育たないのは政治の無関心と関係があると思えます。まず、様々な政党や政治に意見を言える府民を育てるべきです。そうでなければ、国や東京や大阪等に振り回されて終わってしまいます。コロナ化の世界情勢を見ても、日本だけ国民の政治運動がありません。政治に無関心で行動しない民だらけの地域や国が栄えることはありません。でも日本には気軽に政治参加できる環境が見当たらないのも事実です。政治の情報発信力の強化、府民の考える力の強化と参加しやすい環境を作る必要があると思えます。</p>	C	計画の方向性・期待
29	20	例えば「コロナ禍」といった「新しい行動スタイル」への変化が必要となった場合においても「市民参加推進条例」に定められている条項が遵守できる体制を「全庁共汗」で立ち上げ。時々の課題に対処できる仕組みを「骨子」の柱として組み込んで頂きたいと考えます。	B	職員・体制
30	24	例えば、保健福祉局において、「定例開催している協議会の開催について、京都市情報館の『審議会等開催案内』のページに掲載されていなかったため、市民の方から指摘される事案」があった場合、局内だけではなく、全庁で縦割りを排した課題の共有と対処の仕組みが骨子に組み込まれることが必要だと考えます。	B	職員・体制
31	107	私は、今回の「第3期京都市市民参加推進計画 骨子案」について、重視する視点がとても適切なものであると感じます。より多くの市民が市政参加をしやすいようにする環境づくりを行おうとしている点にとっても好感を持ちました。その理由として、まず現段階では市政参加を行なっている絶対数自体が少なく、より良いまちづくりを行う上では意見が偏っている場合があるからです。	B	裾野拡大
32	286	言葉が難しく全体的にわかりませんでした。市政参加とは、何ですか。具体的に何をやるのですか。	A	定義・文言・図
33	90	解説動画をつけることや方針を明確化することがわかりやすいと思った。	B	定義・文言・図
34	123	社会情勢の変化という点ではコロナ下やコロナ後の新しい生活スタイルや働き方などが3つの重視する策定ポイントのどの部分に当てはまるのかが分からなかった。	C	定義・文言・図
35	245	この計画がどう言うものなのか全体的なものはわかり、自分自身もこの活動に参加できると知ったが、難しい言葉が多くて理解しにくかったので、動画内でも図やグラフも使っていけばいいと思います。	C	定義・文言・図

II 社会情勢の変化

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
36	228	色々な団体が協力して、取り組むことは分かったけれど、具体的な取り組みで決まっていることや実行していることはありますか？	C	その他
37	156	再び緊急事態宣言が出された状況において、新型コロナウイルスの感染拡大を終結させるためには、各市町村でこれまで以上の厳しい対策が求められる。それまでのライフスタイルが変化している現状を十分に考慮した上で、子育てや教育環境に対して適宜支援の実施や発案等が必要不可欠とされると私は考える。	D	その他
38	183	観光地化により市内の土地価格が高騰しており、子育て世帯が家を購入することは難しくなっています。地域に若い世帯が住めなくなると将来地域を担っていく人達がいなくなるのは京都市にとって大きな損失になると思われます。 若い世帯が長く住めるように支援をもっと手厚くしてほしいです。	D	その他

III 策定のポイント

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
1	138	重視する視点の部分で、具体的に協働主体とどのような取り組みを行うかが示されていれば、より良いものになると思った。	A	具体化
2	195	大きな計画の概要なので細かい事業について記載されていないのは分かるのですが、別冊でも具体的な事業について提示がないとあいまいな賛成しかできないように思います。	A	具体化
3	134	3の社会情勢の変化や4の策定のポイントで示されたコロナ禍における新しい生活様式への対応や、人口の1割に相当する学生を活かす方法に関して、具体的な施策としてはそれぞれ施策12と施策7が対応するのでしょうか？だとすれば、自分が学生だからというのもあるでしょうが、より焦点を当てたような施策があれば嬉しいなと感じました。	A	具体化
4	357	意見募集が開始された後に、京都市長から行財政改革に係る方針が示されたことで、全体像も、少なからず修正されるもの、と考える。計画の上位に位置する京都市市民参加推進条例は、「市民の知恵と力を生かした市政及び個性豊かなまちづくりの推進に資すること」を目的としているが、京都市が破綻した場合、国の管理下に置かれることから、この目的を十分に達することはできない。したがって、全体像の中に、京都市そのものの持続性、という視点は追記せざるを得ないであろう。その際に、「市民の知恵と力を生かすこと」や「個性豊かなまちづくりの推進」が京都市の持続性のために必要、という構図が望ましい、と考える。財政難を理由に、多くの事業が中止・停止されようとしている。中には、「市民の知恵を力を生かし」「個性豊かなまちづくりの推進」のために、開始し、続けてきた事業も多い。そこで、中止・停止に際しても「市民と職員との対話」に基づき、信頼や学びにつなげていくことが必要であろう。となると、「京都市市民参加推進計画」の趣旨が、本計画の中にとどまるのではなく、京都市基本計画をはじめ、市の策定する諸計画や実施する各事業において、貫徹していることが求められる。計画の位置付けの図では、双方向の矢印が何を示しているのか、明示されていないため、単に、「お互い齟齬のないようにする」程度のものとも見える。もう少し踏み込んで、「お互いの趣旨を踏まえ、積極的に取り組む」程度の表現はできないか。	A	計画の方向性・期待
5	369	安心や信頼につながる対話がどのように行われるのかが分からなかったのですが、そんな仕組みや工夫が行われることを期待しています。	A	計画の方向性・期待
6	101	出来るだけ多くの市民の声、意見を取り入れる為にはすごく良い案だと私は思います。市民の関心を市政への参加につなぐ機会の充実やきっかけを作る為に、市政参加の機会の充実や誰もが参加しやすいデザインを考慮し、市民のまちづくり活動の活性化を狙い、最終的には今より多くの京都市民が充実し、納得のいく市政の下暮らしを街づくりは、私の意見としては凄く良い計画案だと思います。	B	計画の方向性・期待
7	145	社会情勢の変化に柔軟に対応していくことが今後の社会の中で重要視されていくことであると考えているので、市政参加の中でも、「Society 5.0」やデジタル・トランスフォーメーション (DX)への取り組みも示唆していてよかった。	B	計画の方向性・期待
8	146	取り組みの施策の中でオープンイノベーションや、オープンガバナンスといった、近年の流行をも取り入れており、流行への感度の高さも感じられた。	B	計画の方向性・期待

III 策定のポイント

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
9	175	重視されるポイントとして、対話の推進、裾野の拡大、課題解決への挑戦を掲げられていますが、今後の5年、そして10年、20年といった将来へ向けても、大事な視点だと思いました。 私自身が歳をとっても、そして、次の世代の子供たちにとっても、京都市が市民参加推進計画に掲げられているまちであり続けるならば、市民のみんなが安心して参加し、充実した生活が送っていけると感じました。	B	計画の方向性・期待
10	351	協働による課題解決は、重要だと思います。そのためには、多様な市民や事業者が自分ごとと考えられるような、課題設定や問いかけのデザインが重要となると思います。それが行政の各部署の連携・協働にもつながるものとなると思います。	B	計画の方向性・期待
11	30	第3期京都市市民参加推進計画が、選挙の投票率のアップや自治会活動の活性化に繋がることに期待します。	B	計画の方向性・期待
12	50	このような計画があるとは知りませんでした。みんなにも紹介したいと思います。	B	計画の方向性・期待
13	196	パブリックコメント自体が知られていないと思います。情報発信の方法を改善した方が良いと思います。	B	計画の方向性・期待
14	384	もっとパブリックコメントを親しみやすいものにすれば直接政治に繋がると思った。	B	計画の方向性・期待
15	388	今までの文化を守りつつこれからも他の県に負けないような街を作って欲しい。いろんな技術を取り入れる。	B	計画の方向性・期待
16	423	こう言う活動をする事は政治などに興味を持つきっかけにもなるし、ちゃんとまちづくりについて考えられていてとてもよかった。こういう事業をもっと知ってもらうように、興味を惹かれるようなことを多くすればより良くなるのではないかなと思った。	B	計画の方向性・期待
17	56	市役所と組んでソーシャルな仕事をしたいです。	C	計画の方向性・期待
18	198	職員と市民との距離が近いのは大変良い事だと思います。ただ、市民と市職員との間を取り持つ中間組織もたくさんあり、住み分けが出来ていないところもあるように思います。	C	計画の方向性・期待

III 策定のポイント

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
19	353	とても良い計画だなと思いました。 南三陸の祈念公園の管理（ゴミ掃除・雑草対策）について、行政だけでは維持できないこともあり、町の人達でどう関わっていくかを考えているところですが、ただ管理するとなると、持ち回り、厄介ごととなるので、公園を楽しく使って、そのついでにきれいにするような管理をしようとしています。 ここでも、色んな人達がかかわれるように、全体のプロジェクト名と理念はあるけれど、ルールがない形で、やってみようとしています。何かやりたいを事務局が全て管理していくのではなく、誰でもいつでも祈念公園を活用した活動をする際はプロジェクトに参加していることにして、町の人々の自由活動を高めて楽しくプロジェクトが進むようになると良いなと考えています。これから始動なので、うまくいかないかもしれませんが。。。最低限のルールはあるかもですが、ある程度自由さがある方が、町の人が社会課題に自らを投じて楽しむことにつながるのではないかなと思います。	C	計画の方向性・期待
20	401	年齢関係なく関わられて市内がより明るくなる取り組みをしてみたい。	C	計画の方向性・期待
21	418	中学生でも参加できるということを知って積極的に参加したいと思った。	C	計画の方向性・期待
22	377	行財政が厳しいと聞かすが、そういう時に経費の削減や職員の削減も想定されると思う。地域との対話やより沿う支援のところが減らされるのでないかと懸念する。デジタル化などで定型的なものは機械に置き換えできるかもしれないが、まちづくりのための対話や信頼関係づくりのためには、市職員の関わりやそういう職員の育成が重要である。	B	職員・体制
23	13	信頼を築くには一緒に活動することだと思う。住んでいる場所の町内会に限らず、職員の方にはどんな形であれ、社会活動に参加してほしいと思う。	B	職員・体制
24	20	例えば「コロナ禍」といった「新しい行動スタイル」への変化が必要となった場合においても「市民参加推進条例」に定められている条項が遵守できる体制を「全庁共汗」で立ち上げ。時々の課題に対処できる仕組みを「骨子」の柱として組み込んで頂きたいと考えます。	B	職員・体制
25	24	例えば、保健福祉局において、「定例開催している協議会の開催について、京都市情報館の『審議会等開催案内』のページに掲載されていなかったため、市民の方から指摘される事案」があった場合、局内だけではなく、全庁で縦割りを排した課題の共有と対処の仕組みが骨子に組み込まれることが必要だと考えます。	B	職員・体制
26	393	学校で実際にきてもらいそして生徒もグループ分けして発言しやすいようにしたらいいと思う。	A	裾野拡大
27	404	学校の授業でとり入れたり、中学生が利用しそうな場所にもパンフレットを置けばいいと思う。	A	裾野拡大
28	407	小さい頃から学んでいれば興味が湧くかも	A	裾野拡大
29	410	なかなかまちづくりのためのイベントの参加がなかなかできないので、学校で授業として取り入れたらいいと思った。	A	裾野拡大
30	412	いろんなところでこよう授業をしたりSNSで発信して行けばいいと思う	A	裾野拡大
31	417	授業に取り入れていくことによって自分達も参加出来る事を今回初めて知ったのもっと他の学校でも授業に取り入れるべきだと思う。	A	裾野拡大

III 策定のポイント

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
32	420	中学生が取り組みやすいような雰囲気にすることが大切だと思う。なかなか参加しないと思うので、このように学校でまちづくりに関することについて考える時間があれば良いと思う。	A	裾野拡大
33	427	普段から自分から参加しない人が多いと思うので学校などで授業のコマを作って広めれば良いと思う。	A	裾野拡大
34	438	出前授業を頻繁におこなって小学生のうちから考える機会を作る。	A	裾野拡大
35	442	そういうことをしっかり考えられる中学生がいることが前提だからまず教育から変えないとダメだと思う	A	裾野拡大
36	446	授業の一環として取り入れるのが1番早いと思う。今はできないかもしれないが、一人一人の意見を出してグループセッションをするのが良いと思う。	A	裾野拡大
37	34	若い世代への裾野の拡大はとても大事だと思う。それを行政だけでなく、様々な若者支援団体や学校やキーとなる人々と共に取り組むことが、効果的なのではないかな。	B	裾野拡大
38	370	次世代につながる市民参加とするのは簡単ではないと思います。それぞれの業界や組織や団体で、時間的な流れも考え方もつなぐ対象も違うと思いますので、それぞれが創意工夫して使えるような仕組みや考え方が示されることを期待します。	B	裾野拡大
39	374	若者への参加を促すのは正直難しさがある。例えば、地域の活動に学生に参加してもらっても、その時だけの関心に留まってしまうこともあり、主体的な参加や継続的な参加につながるのにはハードルがあると思う。きっかけづくりなどで裾野を広げるのもよいが、その中で、しっかりと信頼のおける大人等との関わりなどで、関心をもった若者と顔の見える形で繋がるのが大事なのではないかな。	B	裾野拡大
40	375	関心を持たない者に問いかけてもなかなか参加につながらない。そういう意味では、もともと関心を持っている方へのアプローチが重要である。まちづくりや市政、社会に興味を持つ若者がいれば、しっかりとそれを捉えて、大人との関わりを持たせることや、興味を持つ者同士が集まれる場づくりもいるのではないかな。	B	裾野拡大
41	381	こういうことにあまり興味を持っていない人がほとんどだと思うので、興味を持ってくれるようにもっと工夫をするべきだと思った。	B	裾野拡大
42	382	いろんな人に知ってもらえるように四条や河原町、京都駅などに目につくような派手なポスターを掲示してみたらいいと思う。	B	裾野拡大
43	415	子供の目線と大人の目線では見えるものが違うし考えることも違うと思います。だからこそ子供が関わるべきだと思いました。	B	裾野拡大
44	411	自分たちの得意なことだけを書いてもらう。気になったものがあればよんで参加してもらう。	C	裾野拡大
45	162	策定のポイントの一つである市民参加の裾野の拡大に着目した。参加するきっかけのない人のために「友人作り」を積極的に行うことのできる町づくりの導入を行うべきだと考える。若者は将来の地域について考える機会が少ないと思う。そのため最初に友人作りを目的にまちづくりに参加してもらう。そして参加したことがきっかけで町づくりの魅力を感じ取ってもらうという方向性が良いと考える。	C	裾野拡大
46	383	中学生や高校生の若い声を聞く機会をより多くつくる 公演やイベントを開く	C	裾野拡大
47	385	学校や駅などに目安箱のようなものを設置して欲しい。	C	裾野拡大
48	386	もっと若い世代のみんなが市政参加をすれば社会は変わっていくと思った。	C	裾野拡大
49	387	目に届くような場所にパンフレットやポスターを貼ったりプレゼンなどをして市民参加に興味を持ってもらう。	C	裾野拡大
50	389	学生がもっと参加できる様にネットで伝える事が大事だと思う	C	裾野拡大
51	390	何かキャラクターをつくる。参加すると割引クーポンがもらえるなど	C	裾野拡大
52	391	市民参加をすれば特徴がもらえたり、政策に関心を持ってもらえるようにする	C	裾野拡大

III 策定のポイント

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
53	392	京都市民と交流できるリアルなイベントを作ってそこで意見交流をしてみたい、YouTubeもクオリティーをあげ、質問や提案をしやすくしないと無理だと思う。	C	裾野拡大
54	394	料理教室など人が集まりやすいところで、呼びかける。	C	裾野拡大
55	396	若者に人気の漫画やアニメなどとコラボしたらいいと思います	C	裾野拡大
56	397	京ばぶの動画を京都市公式か京都府公式のチャンネルでアップしたらいいと思う。	C	裾野拡大
57	398	YouTubeでもらった意見をラジオみたいに返信するコーナーがあれば、意見を送ってみたいくなるかも。	C	裾野拡大
58	399	中学生でアナログで意見を送ったりする事はしないと思うので、デジタルに力を入れたらいいと思う。	C	裾野拡大
59	402	もっと日頃から通るところにパンフレットやポスターを置いておくと目に入るから参加しようと思う人がいると思う。	C	裾野拡大
60	403	パンフレットだけでなく、もっと認知度を上げ誰でも参加しやすくなるように京都市のアプリを作ったり、TwitterやInstagramを活用したりして、京都の情報をあげたり意見を集めたりすればいいと思う。	C	裾野拡大
61	405	YouTubeだけでなく、他の方法を使って市民にもっと広まったほうがいいと思いました。	C	裾野拡大
62	406	説明が難しかったので、中学生にも取り組みやすいようにTwitterなどのSNSを活用したらいいと思いました。	C	裾野拡大
63	409	もっと京都市の暮らしやすさをもっと推していく必要があると思います	C	裾野拡大
64	414	SNSなどで意見を募集する	C	裾野拡大
65	416	市政参加、というから難しいようなイメージをもつと思うし、参加したい人は必ず居るのでネーミングを馴染みやすいものにすればいいと思う。	C	裾野拡大
66	419	京都市の中学校の廊下や地下鉄にポスターを貼ったり、実際に働いている人が学校に行き授業したりする。	C	裾野拡大
67	422	発信力が大事だと思います。ただ発信するのではなく中学生が興味を持つような。簡単に簡潔にして入りやすくしたり少し遊びを用いたり。	C	裾野拡大
68	424	こういう機会を増やしていき、行政ではあまり考えられないような意見をどんどん取り入れていき、自分が考えた案がちゃんと取り入れられたんだとわかるようなことをすれば良いと思った。	C	裾野拡大
69	425	地域コミュニティ活性化のために、地域で毎月行事(七夕に竹を切ったり、お正月にしま縄を作る)を開催したら、コミュニティが深まると思う。	C	裾野拡大
70	428	京都の老舗などとコラボしても面白いかもしれない	C	裾野拡大
71	429	もう少し知名度を上げ、貴重な土日の1日を潰してもいいぐらいの大きな楽しいイベントをし堅苦しいイメージを緩和する	C	裾野拡大
72	430	学生が行きやすい場所でまちづくりに関するイベントや説明会などをすればいいかもしれない。	C	裾野拡大
73	431	無理に市政参加を促しても良いアイデアは思い浮かばない気がするので中高生が遊びに行ったりする場所に市政参加に関するなにかを置くといい気がします。そうすれば友達と話し合うこともできます	C	裾野拡大
74	432	オリジナルのYouTubeチャンネルを作って市民のみんなが見たいと思う動画を作る。まゆまるを登場させて、全国に京都のまちづくりについて発信していくのもいいと思う。	C	裾野拡大
75	433	色んな人が意見を吐けるようなサイトを作って、みんなの意見を元にまちづくりをすればいいと思う。	C	裾野拡大

III 策定のポイント

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
76	434	アンケートを日常に組み込むことが認識を広める近道だと思うので切符を買うところや、自販機などでアンケートがあればいいと思う。	C	裾野拡大
77	436	京都市の中学校の廊下や地下鉄にポスターを貼ったり、実際に働いている人が学校に行き授業したりする。	C	裾野拡大
78	443	実際に中学生が市政参加して、何かを変えた例をメディアなどでたくさん出す。	C	裾野拡大
79	444	「意見ください」だけでは集まらないのが若い世代の特徴だと思うので、やっぱり参加することのメリットをわかりやすく伝えることが大事なのではないかと思った。参加することによる報酬をつける等	C	裾野拡大
80	445	一度くらいは政治に関わっている人と話す機会があれば理解が深まると思う 自分の考えが実現するためにはどのようなリスクが伴うかとか話したい	C	裾野拡大
81	447	中学生が作った作品をふるさと納税のような制度で売る	C	裾野拡大
82	448	ボランティアや町探検など町を知りながらいろんな世代同士の交流ができるプログラムを色々やる。するといろんな世代の意見をさらに取り入れることができる	C	裾野拡大
83	449	日頃から友達や家族と意見の交換をするようにする。	C	裾野拡大
84	400	議員さんたちは高齢な方が多いと思うので、もっと若い人を増やせば時代に取り残されることはないと思います。	D	その他
85	182	全体的に、「多様な主体」ということばがでできますが、外国人住民や外国にルーツのある日本人なども入っていますか？ 市民参加のいい仕組みが京都にはあるので、そういう仕組みをより多くの方に使ってもらっていいまちづくりができるようになればいいなと思っています。	A	定義・文言・図
86	328	目指す未来像のフレーズが抽象的で、参加意識を向上させにくいと思いますので、より印象に残る具体的なキャッチコピーにできないでしょうか。例えば、「近所の人と自然とあいさつできる地域社会の実現」	B	定義・文言・図
87	329	目指す地域社会の姿に「京都に関わるあらゆる主体」という表現について、京都ではなく「地域社会のあらゆる主体」の方が適切かと思います。	B	定義・文言・図
88	378	もっと京都市の暮らしやすさをもっと推していく必要があると思います	C	その他
89	379	京都市の伝統など他の地域の人にも知ってもらう	C	その他
90	380	(参加する側も) 政治のことなど事前に学んでおく	C	その他
91	421	京都市がどういう活動をしているのか全然知らないので提案とか意見とかないです。	C	その他
92	197	京都市のホームページはとにかく分かりにくいと思います。改善を望みます。	C	その他
93	426	SDGsバッチをコンビニと協力して発売したというのを聞いて、仕かけ学の一環としてパンの袋にバッチの内容を印刷したりしたらバッチを買う人だけでなくパンを買う人も読むことになり、知ってもらえる機会が増えるのではないかと思います。	C	その他
94	439	京都のニュース番組で「まちづくり」について報道する。	D	その他
95	395	京都特有の日本家屋と現代的な建物を融合した建築物を街に並べて欲しいです	D	その他
96	408	もっと綺麗な街になってほしい。ゴミが多い。賑やかな明るい街。	D	その他
97	413	市営の交通機関と民営の交通機関がもっと連携していくべき	D	その他

IV 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
1	21	理念の素晴らしい計画だが、それだけでなく、計画である以上目標値があってもいいのではないか。	A	具体化
2	141	市民との未来像・課題の共有 市民参加をしてもらう為の具体的な目標があり、わかりやすい内容になっている。しかし、手段が抽象的で説得力に欠けるように思えた。	A	具体化
3	195	大きな計画の概要なので細かい事業について記載されていないのは分かるのですが、別冊でも具体的な事業について提示がないとあいまいな賛成しかできないように思います。	A	具体化
4	163	市政に関心をもったとき、どうすれば良いのか。市役所内部の事業だけでなく、私たち市民向けのノウハウや発信が計画の中にあっても良いのではないか。	A	具体化
5	18	コロナで状況が変わる今は、計画で事業を固めきるのではなく、より多くの人と共有できる考え方や理想を示し、柔軟に対応出来るものにしてほしい。	B	計画の方向性・期待
6	145	社会情勢の変化に柔軟に対応していくことが今後の社会の中で重要視されていくことであると考えているので、市政参加の中でも、「Society 5.0」やデジタル・トランスフォーメーション (DX)への取り組みも示唆していてよかった。	B	計画の方向性・期待
7	146	取り組みの施策の中でオープンイノベーションや、オープンガバナンスといった、近年の流行をも取り入れており、流行への感度の高さも感じられた。	B	計画の方向性・期待
8	217	計画の方向性については賛成である。コロナ禍においても、市民の市政への参加・まちづくり活動への参加が推進されるよう取り組んでいただきたい。	B	計画の方向性・期待
9	361	市民参加の制度があることで、市政の透明性が高まり、市民の入り口が確保され、信頼につながるものだと思います。	B	計画の方向性・期待
10	196	パブリックコメント自体が知られていないと思います。情報発信の方法を改善した方が良くと思います。	B	計画の方向性・期待
11	401	年齢関係なく関わって市内がより明るくなる取り組みをしてみたい。	C	計画の方向性・期待
12	353	とても良い計画だなと思いました。 南三陸の祈念公園の管理（ゴミ掃除・雑草対策）について、行政だけでは維持できないこともあり、町の人達でどう関わっていくかを考えているところですが、ただ管理するとなると、持ち回り、厄介ごととなるので、公園を楽しく使って、そのついでにきれいにするような管理をしようとしています。 ここでも、色んな人達がかかわれるように、全体のプロジェクト名と理念はあるけれど、ルールがない形で、やってみようとしています。何かやりたいを事務局が全て管理していくのではなく、誰でもいつでも祈念公園を活用した活動をする際はプロジェクトに参加していることにして、町の人々の自由活動を高めて楽しくプロジェクトが進むようになると良いなと考えています。これから始動なので、うまくいかないかもしれませんが。。 最低限のルールはあるかもですが、ある程度自由さがある方が、町の人々が社会課題に自らを投じて楽しむことにつながるのではないかなと思います。	C	計画の方向性・期待

IV 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
13	358	この1年間の市政を見てみると、「市民との対話」という観点では、以下の事例が示すように、明らかに後退している。 <ul style="list-style-type: none"> ・市長への手紙の対応を一時的に停止し（そのこと自体はやむを得ないと思うが）、停止の周知も再開の周知も、極めて不十分であったこと。 ・市役所内部の情報共有不足により、市民への説明が不十分となっている案件が多いこと ・「問い合わせ先」が明記されていない広報が増えたこと ・オフラインの場が制限されたことについて、代替手法の展開が十分ではないこと ・各局・区の運営方針が策定・公表されなくなること また、「行財政改革」という観点では、原理的に市民参加が制限されやすい。 （そもそも地方自治における直接請求の対象外の分野） とすると、本計画の中で、さらなる後退の懸念を払拭する具体的な手法がほしい。	C	計画の方向性・期待
14	359	パブリックコメントの運用について、いくつか課題があると感じている。 一つには、パブリックコメントの目的を勘違いしている傾向が見られること。市会の委員会の議事録を見ても、その数や賛成・反対を問う質問が多く、目的が理解されていない様子が伺われる。行政側でも、数だけで評価する傾向が強い。 多様な視点・意見を確保する目的からすれば、同じ意見が多くある場合よりも、多様な意見があった場合を評価すべきであり、特に行政側が気付いていなかった意見が寄せられた場合に、パブリックコメントの効果が最大に発揮された、と評価される。 議員の方をはじめ、市民の方の認識を改めていくのは難しいことではあるが、各計画・事業の担当部局からではなく、市民参加推進担当部局から適宜、パブコメの意義・目的を伝え続けること（各計画・事業の担当部局から伝えると、各計画・事業に対する評価と、パブコメの評価が混じってしまうので）、パブコメで新たに寄せられた視点の公開を癖づけることといったことは直ぐにでも着手できると思う。	C	計画の方向性・期待
15	198	職員と市民との距離が近いのは大変良い事と思います。ただ、市民と市職員との間を取り持つ中間組織もたくさんあり、住み分けが出来ていないところもあるように思います。	C	計画の方向性・期待
16	53	市役所の人に知り合いはいますが、市政について話すことはあまりありません。そういう機会があると市政が身近に感じられます。	B	職員・体制
17	115	市民と職員が互いに対等の立場ということについて、職員が一方的に行動しても市民はついてくるところか離れていってしまう恐れがあるし、逆に市民の意見が強くなっても非現実的なものであったり逆にネガティブな方向へ向かってしまったりすると思うので、両者が対等であることも非常に重要なのだと感じた。	B	職員・体制
18	376	行政や市職員が、まちづくり活動をする者に、しっかりと寄り添う姿勢が大事ではないか。例えば、様々な複雑な支援制度（補助金等）について、市民や地域、活動団体は理解するのは難しい。単なる受付窓口ではなく、支援制度の活用策のアドバイスなど、市民や地域に寄り添ったプラスアルファの部分がほしい。顔の見える関係で、地域やまちが良くなるためのプラスアルファの部分を共に見出すことができれば、市民の信頼も高くなると思う。	B	職員・体制
19	313	職員と市民が対等の立場に立ってとあったけれど、具体的にどんな取り組みに対して対等の立場の立っているのかが不思議に思った。	B	職員・体制

Ⅳ 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
20	459	市民が市政参加に主体的に進んで取り組むのが理想だが、職員が地域に向向くことによって、市民も心を開き情報を受け入れやすいと思う。また、職員側からも出向くことによって、多くの市民の方の意見やアイデアを聞くことができるというメリットがある。仕事や育児で忙しい方など、市政参加に興味はあるが、参加するのが難しいという方にも、職員の方から歩み寄ることが大切だと考える。私も実際に大学の授業で京都市職員の方のお話を聞くことで、京都市が取り組んでいる内容に興味が高まった。	B	職員・体制
21	80	市民が市政参加しやすい環境を整え、様々な年代の意見を取り入れるための取り組みを行うことを基本方針に掲げていたが、実際私達が生活して「市政参加」という言葉や取り組みはまだ浸透していないように感じます。学生などの若い世代の意見を取り入れるためには、中学や高校の授業プログラムの中に市政参加と取り入れて認知度を上げることが必要だと思いました。	A	裾野拡大
22	139	若い世代特に学生は市民参加について知っていることが少ないと考える。私が中学、高校生の時は全く知らなかった。若い世代のためにと考えるなら学ばせるためにもホームルームとかで触れる必要があると考える	A	裾野拡大
23	393	学校で実際にきてもらいそして生徒もグループ分けして発言しやすいようにしたらいいと思う。	A	裾野拡大
24	420	中学生が取り組みやすいような雰囲気にすることが大切だと思う。なかなか参加しないと思うので、このように学校でまちづくりに関することについて考える時間があれば良いなと思う。	A	裾野拡大
25	457	あらゆる対象に情報発信を行うことは基本的で大切なことであり、到達主義（届けたい対象にしっかり伝えること）を重視することを含めても、とても良い施策だと思います。そこで私が提案するのは「小中高などの教育機関での情報発信」です。小中高の授業の一環として京都市について考えたり、情報発信を行う時間を作ったりするのが良いと思います。なぜかという、実際に私が学校の授業がきっかけで京都市について考えたり地元について考えたりする機会が増えたからです。こうしてパブリックコメントとして意見を述べられているのも、それらのおかげだと私は思っています。学校で習ったことや触れたことは意外に覚えていることも多く、大人になって何かをするときの糧になります。何より小さいころから京都市(地元)について考える習慣(機会)を作ることは、本人にとっても良いと思います。自分が住む場所について考えることは自分のことについて考えることに繋がるからです。こうして京都市について考える習慣をつけることは、自分の意見を持つことに繋がり、それがやがて市民参加の際に役に立つと思います。	A	裾野拡大
26	463	施策2の「信頼や学びにつながる『市民と職員との対話』の推進」が最も効果があると思う。なぜなら、これからの未来を担うのは子供たちであるからだ。高校や大学などで職員が講演を行うことで、3つの基本方針の「市民との未来像・課題の共有」で、市民と行政が課題や未来像の共有ができるということが実現でき、また、「市民の市政への参加の推進」で、次世代につながる施策を子供たちに関心を持ってもらえることで実現でき、さらに、「市民の街づくり活動の活性化」で、地域や社会を良くするための活動を知るきっかけ作りにもなると考える。	A	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
27	460	ファシリテーターの育成をすることは大切だと思う。ファシリテーターが増えることで、対話がしやすい場づくりができる。対話をしていると、話の目的を忘れてしまう時がある。その目的を忘れずに、対話を円滑に進めてくれるファシリテーターがいると時間の短縮にもなり、話が進みやすい。私もファシリテーターの役割を理解して、実際に対話をしてみたいと思う。より多くの意見やアイデアを得るためには、ファシリテーターは欠かせない役割だ。職員の方が大学への出講だけでなく、中学校の授業でファシリテーターの役割を教えたりするなど、若いうちから市政参加に興味を持ってもらうためにも必要だと思う。今後市民の皆さんが年齢関係や立場など関係なく、ファシリテーターの役割を担えるようになればいいと思う。	A	裾野拡大
28	167	参加を広げるといった場合、全く参加していない人を参加させることに限らず、既に活動している人の繋がりを活かして、活動の輪を広げたり、仲間を増やしたり、はたまた次世代を担う中心的人物の育成やそういった人との関係づくりなどこそ、裾野拡大の本質ではないでしょうか。 関心のない人にはどれだけ発信しても受け取ってはもらえないように思えます。	B	裾野拡大
29	48	施策1に関して、市区町村で行われている施策、イベント等、あるいは調査結果などの情報をもっと気軽にみられるようになればいいのだと思う。特に若い世代にとってはSNSが情報を得る手段としては一般的である。また特に中高生の間では教育現場から情報を得るということも主流である。したがって飲食店、ショッピングセンター、教育機関など様々なところでポスター設置などによる情報発信が重要だと思う。また役所から発信される情報は正直どれも堅すぎる気がする。したがって中高生向けの分かりやすいホームページの作成、ワークショップなどの様子などの発信、またインスタグラム等で市政にまつわること以外の身近な話題、つぶやき、市長の一言など、若者がひきつけられるような発信の仕方を模索することも必要なのではないかなと思う。例えばクリエイターの方とホームページ、市はこんなことやってますって感じの動画作成&発信など。とにかく若者を含め多くの人に市政を知ってもらうためにも無意識に広告などに触れる機会、場所造ることが大切だと思う。	B	裾野拡大
30	2	「誰もが参加しやすいデザイン」 忙しい中、わざわざボランティアで参加するには、魅力ある内容、参加しやすいやり方を工夫する必要があると思う。	B	裾野拡大
31	3	「まちづくりに取り組むきっかけづくり」 まちづくりには若者の意見を採り入れるべき。学生や若手が参加しやすいよう、スマホやオンラインを駆使したやり方が必要だと思う。	B	裾野拡大
32	92	コロナ禍の社会においてはオンライン上での広告や発信、zoomなどのオンライン媒体を駆使した説明会をするなど、効果的であると考えます。	B	裾野拡大
33	130	基本方針1で挙げられていた「誰もが参加しやすいデザイン」は市政参加においてとても重要な政策だと思う。市民の視点に立って、あらゆる年齢層の方が参加しやすいように場や手法を工夫する必要がある。参加にハードルを感じる市民の例として、家庭事情、仕事関係、文化の違いなどが挙げられる。これらのすべての方が参加しやすいようなユニバーサルデザインが必要になってくる。子どもが参加しやすいように、授業や講義に市政参加の要素を組み込んでいけば良いと私は考える。2ヶ月に1回程度、市政参加にまつわるアンケートを実施したり、実際に市議会議員を招いて、市の状況について少しでも興味を持ってもらうことによって、若者の市政に対する興味が向上するのでは無いだろうか。	B	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
34	159	「市民との未来像・課題の共有」に関する施策として、「到達を重視する情報発信」というものが挙げられていたが、ここが非常に重要だと思います。比較的高齢者は市民参加推進計画等の市が発表している計画等に関心があるように思いますが、若者はまだまだ関心が薄いように思います。未来を担っていく若者により市政参加をしてもらうためには、インフルエンサーなどの拡散力を使い、発信していくべきだと思います。パブコメチャンネルも、非常にわかりやすく言葉を噛み砕いて説明されいたのに、再生回数を見ると、まだまだ市民にリーチ出来ていない状況かと思えます。発信力を上げるとより市政に関心を持つ若者が増えるのではないかと思います。	B	裾野拡大
35	250	参加できれば意見も言えて、市政のことも知れて一石二鳥だと思った。ただ参加しにくいという面も共感できた。それを解決するために、参加しやすいデザインにする、仕掛け学を使うというのは興味が湧いた。具体的にどんな仕掛けにしてどう参加を促すか知りたい。	B	裾野拡大
36	293	もっと市民と対話をしたほうが良いとおもいます。意見が反映されていないことが多いように感じます。気軽に意見を言えるような機会や場所を増やしたほうが良いと思います。	B	裾野拡大
37	339	到達主義は大事。ただ、基本的に興味のない、受け身の市民に到達させるのは難しい。そのような市民に到達させるための手段として、屋外の活用、というのはどうか。イベントでも飲食店の屋外活用でも、まちを歩いている時にふと参加したくなるような仕掛けが欲しい。	B	裾野拡大
38	415	子供の目線と大人の目線では見えるものが違うし考えることも違うと思います。だからこそ子供が関わるべきだと思います。	B	裾野拡大
39	453	改善・工夫したほうが良いと考えた施策は、施策1の「到達を重視する情報発信」である。理由は、その情報発信が本当に届けたい対象に伝えることができるかわからないからである。SNSを用いれば若者の目に留まるということは絶対ではないし、もともと興味がない人には見るという行為にまで至らない可能性がある。市民が市政参加やまちづくりに興味を持つきっかけを作るためということであるならば、嫌でも目に留まるようにする必要があると思う。そもそも、この施策1がうまくいかなければ、市政参加をする市民は増えない。そのため、SNSでの情報発信はもちろん行う意味はあると思うが、民間メディアとの連携はとても重要だと思う。例えば、電車に乗るときの駅のホームや電車の中、テレビなどのふとした瞬間に目に入る広告や動画、街を歩いているときに耳に入る言葉や音など、意識外から入ってきて頭に残るようなものを作っていく必要があると思う。自分は割とそのようなものがパッと目に入ったり耳に残ったりして、気になるようなタイプの人間なので、自分のような人はそこから興味を持つような人もいると思う。ただ、たった数秒で頭に残るようなものを作るのはとても難しいかもしれない。そのような時こそ参加している市民が案を出し合っていくと楽しさや魅力が伝わるようなものが作れると思う。	B	裾野拡大
40	94	到達主義を重要視した情報発信をすると記載されていますが、若者は自ら情報を得ようとする人は少ないと考えているのですが、若者への情報発信の方法はどのようにされる予定なのでしょうか。	C	裾野拡大
41	105	市民参加の計画について、この計画を市民に伝えるということがまず初めに重要な点であると感じる。さまざまな工夫が必要であるが、若者の目にとまるようにするために私が考えたことは、YouTuberに案件を依頼するということだ。愛知県岡崎市では、有名なYouTuberに依頼しているのをよく見る。京都市にどれだけ有名な人がいるのかわからないが、情報を伝える媒体としてYouTubeは必ず利用すべきだと感じた。	C	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
42	271	市政参加するのにワークショップや市民公務委員を登用, パブリックコメントが挙げられていましたが, 参加する人は政策に関心がないと参加できないように感じる人もいたりすると思います。なので簡単に参加できる案はありますか?	C	裾野拡大
43	385	学校や駅などに目安箱のようなものを設置して欲しい。	C	裾野拡大
44	387	目に届くような場所にパンフレットやポスターを貼ったりプレゼンなどをして市民参加に興味を持ってもらう。	C	裾野拡大
45	389	学生がもっと参加できる様にネットで伝える事が大事だと思う	C	裾野拡大
46	403	パンフレットだけでなく, もっと認知度を上げ誰でも参加しやすくなるように京都市のアプリを作ったり, TwitterやInstagramを活用したりして, 京都の情報をあげたり意見を集めたりすればいいと思う。	C	裾野拡大
47	419	京都市の中学校の廊下や地下鉄にポスターを貼ったり, 実際に働いている人が学校に行き授業したりする。	C	裾野拡大
48	422	発信力が大事だと思います。ただ発信するのではなく中学生が興味を持つような。簡単に簡潔にして入りやすくしたり少し遊びを用いたり。	C	裾野拡大
49	432	オリジナルのYouTubeチャンネルを作って市民のみんなが見たいと思う動画を作る。まゆまるを登場させて, 全国に京都のまちづくりについて発信していくのもいいと思う。	C	裾野拡大
50	82	(推進施策 基本方針1について) 分かりやすく伝えることはもちろん, 対象に情報を行き渡らせることを重視されていて良いと思いました。「届けたい対象にしっかり伝える」ということは, 伝える対象によって文字の大きさやカタカナ言葉(パートナーシップやイノベーションなど)に注釈をどこまで入れたり, 他の言葉で代替したりしていくのか, といったことにも配慮していくことができれば良いと思います。	A	定義・文言・図
51	182	全体的に, 「多様な主体」ということができてきますが, 外国人住民や外国にルーツのある日本人なども入っていますか? 市民参加のいい仕組みが京都にはあるので, そういう仕組みをより多くの方に使ってもらっていいまちづくりができるようになればいいなと思っています。	A	定義・文言・図
52	279	正直はやくて一回見ただけじゃ内容が入ってこなかった。 「オープンイノベーション」「オープンガバナンス」を推進するという内容だったが, それがどういうものなのか, という事は説明されていたが, それはどこで, どんな風に行うかなど具体的な方法が説明されていなかった。 キャラクターなどを使ってみんなにわかりやすく伝えようとしているなら, もっとイラストや図を使ったり, 難しい言葉を普段使うような言葉に置き換えて説明した方がいいと思った。	A	定義・文言・図
53	280	安心安全で話しやすい対話とは? 話しやすいはわかるけど, 安心安全ってなんですか? 話し合いに危険が伴っているのかと思いました。	A	定義・文言・図
54	281	ファシリテーターとかいう横文字をしれっと入れられると混乱する。	A	定義・文言・図
55	153	基本方針の, 市民との未来像・課題の共有に基づいたうえで, 市民の市政への参加の推進や市民のまちづくり活動の活性化を行うという考え方が, わかりやすく素敵だなと感じました	B	定義・文言・図

IV 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
56	29	基本方針2「市民の市政への参画」や基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」を実現させるには、骨子案のとおり基本方針1「市民との未来像・課題の共有」が必要不可欠です。 しかし、「市民」と「行政」、「職員」の間で自分ごと、みんなごと、考えるポイント、今しか見ない視点などあらゆる点の洗い出し及び共有が全くできていない現状がある中、骨子案では、基本方針2と基本方針3に重点を置いているように思います。 「市民」と「職員」を焚き付け、未来志向で話し合える場や描き、語らせる場の創出。特に「市民」主体で取り組める一手を望みます。	B	未来像・課題の共有
57	49	対等な立場で気軽に話し合うというのは、どのような場面でも難しいことだと思いますが、前向きに話すためにも、楽しく話せるための基本ルールを皆が事前に共有しておくことが大事だと思います。	B	未来像・課題の共有
58	114	到達を重視する情報発信について、どんなに京都市が様々な情報を発信していても、その情報がうまく伝わっていなかったり、例えとして若者に伝えたい情報が高齢者に伝わったとしたらその情報は意味をなさなかったりする。情報は伝えたいところへ伝わってこそ情報発信に意味があると考えられるので、非常に根本的なことであるが重要なものだと感じた。情報発信についてはさまざまな方法があると考えられるが、老若男女関係なく情報を伝えられるのはやはり公共の場所にポスターを貼ったりチラシを配ったりすることだと思うし、若者に向けた情報であれば若者の利用者数が多いSNSが効果的であると思うし、歳を重ねた人たちに情報を伝えるのであれば新聞で広告することは効果的だと思う。このように情報発信の手段を変えることで伝えたい対象に情報を伝達することができるかと私は考えた。	B	未来像・課題の共有
59	128	基本方針1について、 情報発信において届けたい対象にしっかり届けることを重視するのはとても素晴らしい。現在、私たちに市政の情報が届いているとは言いにくいので、まずは情報を届けるということを重視するのはとても良い事だと思う。 その際、一つの方法ではなく、年齢や性別などターゲットごとに情報の伝え方を変えていくと良いのではと私は感じた。	B	未来像・課題の共有
60	132	基本方針1の施策1 到達を重視する情報発信というところがすごく良いと思った。 現在は紙媒体だけでなくSNSなど、情報発信のツールはいくつも存在するので、年齢や事業内容によって、それらを使い分け、届けたい人にしっかり情報が伝わると良いと思った。	B	未来像・課題の共有
61	168	施策1に関して：「到達を重視する情報発信」とあるが、情報の受け手が「自分ごと」してその情報をとらえることができるか、そうした工夫を発信時にすることができるか、が大事だと思う。ターゲットに刺さる広報という点では行政の広報はまだダメなので、大事な視点だと思う。	B	未来像・課題の共有
62	204	情報の到達と言うが、情報はとろうと思えばとれる。目的は何か。全員が興味をもつことが必要か？目的と対象次第ではないのか？	B	未来像・課題の共有

IV 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
63	454	3つの基本方針の目的達成のために、最も効果があると考えられる施策は、施策1の到達を重視する情報発信である。情報発信はあらゆる主体に向けて行う。なぜなら、まず興味関心のきっかけが必要であると考えられるからだ。誰かに続くことは簡単であるが、一番初めの行動は勇気が必要であったりリスクを恐れたりしてなかなか踏み出せない。また、あらゆる主体は、住民、地域の住民組織、NPO、企業や事業者、学校・大学、寺社、行政その他京都市に訪れる方や興味のある方など全ての人を含むことより、対象者を明確にしているからだ。これらより、京都市に関係する人全員で一緒に作り上げるのである。自分がターゲットであることに気付く必要があるため、単に情報発信するより、効果があると考えられる。	B	未来像・課題の共有
64	458	私が三つの基本方針の目的達成のために、最も効果があると考えられる施策または取り組みは施策2『信頼や学びにつながる「市民と職員の対話」の推進』である。職員と市民が前向きなテーマで未来像・課題等を共有することで、同じ目標に向かって対等の立場で対話することにより、お互いに協働し合えて話し合いが進みやすくなると思う。職員と市民が対等な立場で話し合うことによって相互理解ができる。対話のはじめは、職員と市民が対等な関係で話すために、お互いを理解するアイスブレイクをしてから話し始める。そして、自分の立場を理解し、同じ視点で話を聞き、自分のアイデアを一方向的に話し、否定的に捉えずに、まずは受け入れて意見やアイデアを述べる。私は、対等な立場で話すことに加えて、表情豊かに笑顔で対話することも重要だと思う。「あなたの意見やアイデアを受け入れますよ」という姿勢や心の状態から対話をはじめべきだ。話しているうちに真剣な表情になる時もあると思うが、なるべく自然な笑顔で市民と職員が対話を心から楽しめたらいいと思う。	B	未来像・課題の共有
65	461	13の施策の中で最も効果的であると考えられる施策は、施策2の信頼や学びにつながる市民と職員の対話の推進である。 この施策で最も重要点は、市民と職員が対等な立場で対話するという点だ。市政参加のハードルが高いと感じる原因として、実際に政策を行う職員とのコミュニケーションが取れていないことや、またその機会が知られていないこと、どのような取り組みが行われているかなどの現状が把握できていないことが挙げられる。このとき、市民と職員の対等な立場での会話の機会はそういった市政参加への抵抗感の打開策になると考える。また、ワークショップなどで対話することで、それぞれが意識している課題を共有することができ、現状としてどのようなことが課題になるかを確認することができる。そして、課題の共有や情報の開示を早い段階で行うこと、継続することで、市民の市政参加へのハードルを下げることになる。ハードルを下げることで関心の低かった世代や、様々な事情で参加できなかった市民が市政参加できると考える。	B	未来像・課題の共有
66	15	情報の到達主義について、情報が到達することと脳内で受け止めることは違う。受け止める側の問題や責任があることも明確にすべきではないか。	C	未来像・課題の共有
67	19	「到達」の効果をどのような評価尺度で測定するのかが示される必要があると考えます。例えば「審議会等」の市民公募委員の募集は「市政参加」への大きなパスを開いているものと思われませんが、実態として発言しないままの市民公募委員も散見されます。理由はいろいろあるかと考えますが、アウトカムとして「議事録」で市民公募委員の発言回数をカウントすれば、効果測定が可能となると考えられます。	C	未来像・課題の共有

IV 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
68	113	IVの推進施策の基本方針1の施策2, 3に「市民と職員の対話」と「多様な主体の対話」の推進があるが, この新型コロナウイルス感染症が流行っているなかでなかなか直接の対話は難しいと思うが, 安心安全を意識して対話を行うとなるとどのくらいの規模で行うのか, Zoom等のリモートで行った場合に非対面だからといって規模が大きくなることで一人一人とのコミュニケーションが薄れてしまう可能性もあるのではないかと思います。	C	未来像・課題の共有
69	129	到達主義という考え方は, 若者への訴求を進めていくためには重要なものだと思いますが, 今回YouTubeの動画を見させていただいたうえで, 動画の時間が少し長いなと思いました。YouTubeではやはり10分程度の動画時間が主流となっており, その中で40分一気に見ようとはよっぽど好きなYouTuberとかでない限り, なかなかありません。まだ市民参加がひろがっていない若者を伝えたい対象とするのであれば, 動画時間などにも細かな配慮をしていくことで, 少しでも伝わりやすくなると思います。	C	未来像・課題の共有
70	232	職員が地域に出向く取り組みはとても良いと思った。市政についてよく知らない人や興味のない人とは, どのように対話を進めていくのか。よりたくさんの人を集めるにはどのようなことをするのか。	C	未来像・課題の共有
71	236	京ぱぶについて私は授業で初めて知ったし, まだ動画も2個しか見てない。配布された本もしっかり読んでない。知識が全然ない状態なので基礎的な情報ぐらいは知っとこうと思った。 市民の参加が必要な京ぱぶ。市民が知らないと話にならないはずなのに, 実際私と周りの子も知らないし, 家でもそういう話は聞かないのですがどこにこういった広報活動をしているんですか(??)	C	未来像・課題の共有
72	252	少し動画見ても分かりませんでした。熱意は伝わるのですが画像を使うなどわかりやすく動画を作って欲しいです。	C	未来像・課題の共有
73	265	まず, 言葉が難しく理解できない場合があります。画面も変化がなくて単調なので聞き流してしまいます。この動画はどの世代向けに作られたんですか	C	未来像・課題の共有
74	269	YouTubeだけではまだまだ認知度が低いと思います。どうやっていろんな人に知ってもらおうと考えていますか。	C	未来像・課題の共有
75	270	教員と市民はどこで集まり, 定期的に会うのか? どうやって呼び込むのか? 何歳からの人から参加できるのですか?	C	未来像・課題の共有
76	282	時間があるならもう少し動画の質を上げた方が良いでしょう。 サムネイルとか, 演出の仕方とか(文字以外にも)	C	未来像・課題の共有
77	285	僕は今回この話を聞いて, 2つ疑問が浮かびました。それは, このような素晴らしいアイデアを知っている市民が少ないということです。どのようにこの政策を広めていくのですか? また, 市民のその政策への参加動機や興味をどうやって引き出すのですか?	C	未来像・課題の共有
78	287	具体的にどのようなメディアを使って情報発信をしているのか知りたいです。	C	未来像・課題の共有

IV 推進施策 基本方針1

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
79	469	色々な意見を話せる場でおしゃべりしたいという人は多いが, WEBからパブコメに書こうとする人は少ないと思う。話をできる場を用意することが重要。	C	未来像・課題の共有
80	1	「到達を重視する情報発信」 例えば, 令和元年10月パブコメ「幼児教育・保育の無償化における認可外保育施設の取扱いに関する市民意見の募集について」が結果を公表しないまま放置されている。まずは最低限の情報発信やホームページのメンテナンスをしっかりとしてほしい。	C	未来像・課題の共有
81	468	京都市はSDGs,SDGsというが市民に具体的に分かるように発信する必要がある。もっといろんな場面で発信し, 意見を聴く場を作ってほしい。市長やマスメディアでの発信も強化する必要がある。	C	未来像・課題の共有
82	290	意見交流の為に市職員が出向くのと同時に, 市民を集めなければならないと思いますが, どのようにして市民を呼び込むのですか?	C	未来像・課題の共有
83	253	骨子案というものをもっと知りたいです。	C	その他
84	230	選挙には行けとよく言うが, 政治をよく知らない人が政治に参加することは本当にいいことなのか。	C	その他
85	307	市民との関わり方について興味を持った。なぜそのような施策をしようと思ったのかと疑問に思った。	C	その他
86	197	京都市のホームページはとにかく分かりにくいと思います。改善を望みます。	D	その他
87	317	なぜ京都市営地下鉄の料金は高いのか, 値下げしてほしい	D	その他

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
1	21	理念の素晴らしい計画だが、それだけでなく、計画である以上目標値があってもいいのではないか。	A	具体化
2	163	市政に関心をもったとき、どうすれば良いのか。市役所内部の事業だけでなく、私たち市民向けのノウハウや発信が計画の中にあっても良いのではないか。	A	具体化
3	263	どのようにして、手応えを共有するのか、市民と行政の協働は、どのような方法で行うのか、市民の意見を今のところどこまで行政に取り入れることが可能なのか、どのくらい市民から意見を受け入れる予定なのか、具体的に教えてください。	B	具体化
4	246	地域の繋がりを強化するとおっしゃっていますが具体的にどのような方法がありますか？お聞かせください。	B	具体化
5	247	市政参加を行うことにより、市政に市民の意見を取り入れることができ、協働につながるというメリットがあることがわかった。それらの意見や協働の関係がどのようなことに使われている、または使われる予定なのかを具体的に知りたい。	B	具体化
6	261	協働の成果や手応えの共有にはどんなものを使うのですか？(アプリなのか、それとも市役所に張り出すのか、ホームページに掲載するのか)	C	具体化
7	301	どのように実感させるのか。実際に市民が政策に加わるのか、集会などを行い説明するのか。どのやうな方法で手応えを感じるようにするかを教えてください。	C	具体化
8	259	内容的には、もっと具体的に施策の説明や取り組みをあげるべきだと思いました。実際に京都市に住んでいますがこのような施策が行われていても自ら参加しようとは思えないです。このような市民が多いとせっかくの取り組みが勿体無い結果になってしまうと思うのですが、その辺りどのようにしていこうとお考えですか？	C	具体化
9	73	「はじめる」と「つながる」においては、2つの施策が挙げられているのに対して、「ひろがる」は1つの施策しか挙げられていないため、他の2つよりも少し力が弱いように感じた。そこで、私は、京都市に限らず、異なる市と協力すると言う施策を考える。京都市の市政参加を促進するというのが今回の目的ではあるが、他の市が行っている施策などを市民に紹介することや、他の市に京都市が行っていることや市政参加の様子を伝えることによって、「つながる」ことや「ひろがる」という点の拡大を見込めると考える。また、他の市の施策を知ることによって、より良い施策が思い浮かぶ良いきっかけになる可能性も見込めると考える。	A	計画の方向性・期待
10	59	施策6について 人事移動時に引継ぎが行われないために、進めてきた活動が継続できないことがある。引継ぎできるように活動の記録や積み重ねを残すことが必要なので、継続的なものになるためにプロセスや成果を記録し積み重ねて手ごたえを実感できるようにすることは、とてもいいことだと思います。今まで、やってきたことも掘り起こせばと思います。	B	計画の方向性・期待
11	149	市政に参加しやすい体制、機会を充実させることも大切だが行政側がどのように市民の意見を取り入れたのかあるいはどのような点が至らなく市政に反映されなかったかをより市民に分かるよう示すことが必要であると考えた。なぜなら、自らが市政に参加しているという実感が持て、参加していない人もどのようなことが議論されるのかなどのある種基準のようなことも分かり参加しやすくなるのではないかと考えたからである。	B	計画の方向性・期待
12	88	企業などの事業者をはじめとした、多様な主体と協働するというのは、昨今の複雑な社会情勢の中では重要な役割を帯びてくると考えるので、行政として適切な補助や協働が為されるよう方針に盛り込まれていて良かったと思う。	B	計画の方向性・期待

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
13	351	協働による課題解決は、重要だと思います。そのためには、多様な市民や事業者が自分ごとと考えられるような、課題設定や問いかけのデザインが重要となると思います。それが行政の各部署の連携・協働にもつながるものとなると思います。	B	計画の方向性・期待
14	12	コロナで事業の限界や行き詰まりが見えてくる中、新たな事業展開を考える必要があるが、ニーズがあるところにビジネスの種がある。社会の課題はその宝庫だと思うので、行政との連携は、社会課題の解決だけでなく、新たなビジネスの創出にも役立つと考える。	B	計画の方向性・期待
15	238	市民の意見を取り入れるワークショップはとてもいいと思う。特にパブリックコメントで幅広い意見を取り入れるのはどのように行なっているのか深く知りたい。	B	計画の方向性・期待
16	16	コロナで人とのつながりを大切さを実感する。今こそ繋がりづくりを支援したり、繋がりを強化することが必要だと思う。	B	計画の方向性・期待
17	18	コロナで状況が変わる今は、計画で事業を固めきるのではなく、より多くの人と共有できる考え方や理想を示し、柔軟に対応出来るものにしてほしい。	B	計画の方向性・期待
18	87	はじめる。つながる。広がる。の3つの輪を意識して、行政活動の施策の立案をするというのは、市政参加制度への認知度や参加率の低迷といった最も大きな課題を意識しているので、とても共感できた。	B	計画の方向性・期待
19	153	基本方針の、市民との未来像・課題の共有に基づいたうえで、市民の市政への参加の推進や市民のまちづくり活動の活性化を行うという考え方が、わかりやすく素敵だなと感じました	B	計画の方向性・期待
20	164	少し市政に興味をもつのも良いなと思いました。	B	計画の方向性・期待
21	217	計画の方向性については賛成である。コロナ禍においても、市民の市政への参加・まちづくり活動への参加が推進されるよう取り組んでいただきたい。	B	計画の方向性・期待
22	401	年齢関係なく関わって市内がより明るくなる取り組みをしてみたい。	B	計画の方向性・期待
23	151	基本方針2の施策8の「協働する市政分野の拡大と新たな挑戦」についてだが、市がまだ取り組んでいない課題に対し市民が先駆的に取り組んでいる活動を評価する仕組みが、非常に良い仕組みであると感じた。理由として、活動を評価された市民は、また評価してもらいたいと思うようになり、他の先駆的な活動にも取り組もうとするモチベーションが発生するのではないかと感じるからである。	C	計画の方向性・期待
24	169	施策4に関して：具体的にはどのような制度が考えられるのか。「常に市民の知恵が反映される制度」とはかなり大きくでたな、という印象がある。「充実」とはいうものの、今はどのような制度があるのか分からない人多いと思うので、まずは例示として「市民の声」がこのように反映されることがある、というストーリー的な形で広報いただければ、施策5の参加のハードルを下げる、という点にもつながるのではないかな。	C	計画の方向性・期待
25	207	言いたいことを言うだけの参加は参加ではないと思う。行動につながる仲間の拡大でないと意味がないのではないかな。	C	計画の方向性・期待
26	237	3話で出てきた市民のまちづくり活動に支援をするということに関心を持ちました。市民が京都を自らの手で作っていくという姿勢の後押しになっていいなと思いました。どんな市民のまちづくり活動があるのか、そして私のような子供でも参加できるのかが気になりました。	C	計画の方向性・期待

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
27	243	どの世代でも, どんな文化の人でも興味を持ち, 参加できるとはなかなか難しいと思うけれどそれをどうすれば実現できるか考える立場になってみたいなと思いました。しかし企画を出しても認知度は低いと思いますが認知度を高めるにはどうするんですか?	C	計画の方向性・期待
28	323	「市民の市政への参加」の方法/パスの1つに「市民公募委員」となることがあると考える。ところで, その募集にあたって, 「選考方法」に示されている内容/基準とは異なった選考が行われている事例(例えば, 「元京都社会福祉会館の活用に係る契約候補事業者選定委員会の市民公募委員の募集」とその選定)がある。募集時に「選考方法」と基準を実態に即して明示することが, 公正・公平な運用の第一歩であると考えている。従って, 次期計画においては, 「市民公募型」募集時のルールも含め, 検討されることを望みます。	C	計画の方向性・期待
29	334	パブリック・コメントは, 対話型など内容に応じて方法を工夫することも大事。意見数の多少については, 組織票による歪みのおそれもあるので, カウントの取扱いを見直してはどうか。	C	計画の方向性・期待
30	340	政策の中でどの点が市民提案によるものなのかわからない。広報や新聞掲載の際に, 市民提案されたものの強調や, 提案した個人を取り上げると実感が湧くのでは。	C	計画の方向性・期待
31	353	とても良い計画だなと思いました。 南三陸の祈念公園の管理(ゴミ掃除・雑草対策)について, 行政だけでは維持できないこともあり, 町の人達でどう関わっていくかを考えているところですが, ただ管理するとなると, 持ち回り, 厄介ごととなるので, 公園を楽しく使って, そのついでにきれいにするような管理をしようとしています。 ここでも, 色んな人達がかかわれるように, 全体のプロジェクト名と理念はあるけれど, ルールがない形で, やってみようとしています。何かやりたいを事務局が全て管理していくのではなく, 誰でもいつでも祈念公園を活用した活動をする際はプロジェクトに参加していることにして, 町の人々の自由活動を高めて楽しくプロジェクトが進むようになると良いなと考えています。これから始動なので, うまくいかないかもしれませんが。。。最低限のルールはあるかもですが, ある程度自由さがある方が, 町の人々が社会課題に自らを投じて楽しむことにつながるのではないかなと思います。	C	計画の方向性・期待
32	359	パブリックコメントの運用について, いくつか課題があると感じている。 一つには, パブリックコメントの目的を勘違いしている傾向が見られること。市会の委員会の議事録を見ても, その数や賛成・反対を問う質問が多く, 目的が理解されていない様子が伺われる。行政側でも, 数だけで評価する傾向が強い。 多様な視点・意見を確保する目的からすれば, 同じ意見が多くある場合よりも, 多様な意見があった場合を評価すべきであり, 特に行政側が気付いていなかった意見が寄せられた場合に, パブリックコメントの効果が最大に発揮された, と評価される。 議員の方をはじめ, 市民の方の認識を改めていくのは難しいことではあるが, 各計画・事業の担当部局からではなく, 市民参加推進担当部局から適宜, パブコメの意義・目的を伝え続けること(各計画・事業の担当部局から伝えると, 各計画・事業に対する評価と, パブコメの評価が混じってしまうので), パブコメで新たに寄せられた視点の公開を癖づけることといったことは直ぐにでも着手できると思う。	C	計画の方向性・期待
33	467	パブコメを2~3月にやるだけで市民の意見を聴いたということにするのはどうかと思う。	C	計画の方向性・期待

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
34	470	行政が意見を聞かせてもらう広聴と市民が自ら発信できるパブコメは異なっていて、パブコメは市民の力がついて発言することだと思っている。パブコメの制度をしっかりと整えてほしい。	C	計画の方向性・期待
35	54	市役所の人は立場があって自由に活動や話が出来にくそうな印象があります。組織風土を変えないといけないのではないのでしょうか	A	職員・体制
36	53	市役所の人に知り合いはいますが、市政について話すことはあまりありません。そういう機会があると市政が身近に感じられます。	B	職員・体制
37	459	市民が市政参加に主体的に進んで取り組むのが理想だが、職員が地域に出向くことによって、市民も心を開き情報を受け入れやすいと思う。また、職員側からも出向くことによって、多くの市民の方の意見やアイデアを聞くことができるというメリットがある。仕事や育児で忙しい方など、市政参加に興味はあるが、参加するのが難しいという方にも、職員の方から歩み寄ることが大切だと考える。私も実際に大学の授業で京都市職員の方のお話を聞くことで、京都市が取り組んでいる内容に興味が高まった。	B	職員・体制
38	35	市民の意見を拾うというのが現在の職員の数で賄えるのか	C	職員・体制
39	176	若者の市政参加のために、学校やその他の教育機関と連携して、市政を考える授業や講座の開催、そうした取り組みが推進されれば、と思う。	A	裾野拡大
40	206	並行して、子どもたちには教育を通じて素養を育てることが有用だと思う。	A	裾野拡大
41	320	若者の参加は必要不可欠でその大切さを学校で教えていかなければならないと思った。市政や自身の街の取り組みなどに参加する大切さをしっかりと授業でやらなければいけない。	A	裾野拡大
42	393	学校で実際にきてもらいそして生徒もグループ分けして発言しやすいようにしたらいいと思う。	A	裾野拡大
43	404	学校の授業でとり入れたり、中学生が利用しそうな場所にもパンフレットを置けばいいと思う。	A	裾野拡大
44	407	小さい頃から学んでいけば興味が湧くかも	A	裾野拡大
45	410	なかなかまちづくりのためのイベントの参加がなかなかできないので、学校で授業として取り入れたらいいと思った。	A	裾野拡大
46	412	いろんなところでこうゆう授業をしたりSNSで発信して行けばいいと思う	A	裾野拡大
47	417	授業に取り入れていくことによって自分達も参加出来る事を今回初めて知ったのもっと他の学校でも授業に取り入れるべきだと思う。	A	裾野拡大
48	419	京都市の中学校の廊下や地下鉄にポスターを貼ったり、実際に働いている人が学校に行き授業したりする。	A	裾野拡大
49	420	中学生が取り組みやすいような雰囲気にすることが大切だと思う。なかなか参加しないと思うので、このように学校でまちづくりに関することについて考える時間があれば良いなと思う。	A	裾野拡大
50	427	普段から自分から参加しない人が多いと思うので学校などで授業のコマを作って広めれば良いと思う。	A	裾野拡大
51	436	京都市の中学校の廊下や地下鉄にポスターを貼ったり、実際に働いている人が学校に行き授業したりする。	A	裾野拡大
52	438	出前授業を頻繁におこなって小学生のうちから考える機会を作る。	A	裾野拡大
53	442	そういうことをしっかりと考えられる中学生がいることが前提だからまず教育から変えないとダメだと思う	A	裾野拡大
54	446	授業の一環として取り入れるのが1番早いと思う。今はできないかもしれないが、一人一人の意見を出してグループセッションをするのがいいと思う。	A	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
55	457	あらゆる対象に情報発信を行うことは基本的で大切なことであり、到達主義（届けたい対象にしっかり伝えること）を重視することを含めても、とても良い施策だと思います。そこで私が提案するのは「小中高などの教育機関での情報発信」です。小中高の授業の一環として京都市について考えたり、情報発信を行う時間を作ったりするのが良いと思います。なぜかという、実際に私が学校の授業がきっかけで京都市について考えたり地元について考えたりする機会が増えたからです。こうしてパブリックコメントとして意見を述べられているのも、それらのおかげだと私は思っています。学校で習ったことや触れたことは意外に覚えていることも多く、大人になって何かをするときの糧になります。何より小さいころから京都市(地元)について考える習慣(機会)を作ることは、本人にとっても良いと思います。自分が住む場所について考えることは自分のことについて考えることに繋がるからです。こうして京都市について考える習慣をつけることは、自分の意見を持つことに繋がり、それがやがて市民参加の際に役に立つと思います。	A	裾野拡大
56	466	大学の授業で市民参加についてレポートという形で意見させた。大学や色々な学校の授業との連携は重要である。	A	裾野拡大
57	80	市民が市政参加しやすい環境を整え、様々な年代の意見を取り入れるための取り組みを行うことを基本方針に掲げていたが、実際私達が生活していて「市政参加」という言葉や取り組みはまだまだ浸透していないように感じます。学生などの若い世代の意見を取り入れるためには、中学や高校の授業プログラムの中に市政参加と取り入れて認知度を上げることが必要だと思いました。	A	裾野拡大
58	83	次世代につながる市政参加には「推進」するだけでなく、ある程度強制的に市政参加の存在を知らせることが必要なのではないかと感じた。理由としては、学生の視点から、私自身、大学の授業において市政参加について習うまではそのような取り組みが行われていること事態を知らなかったからだ。小・中・高・大学の授業などを通してその存在を知らせていくことで、市政参加の存在を広めていけるのではないかと考えます。	A	裾野拡大
59	460	ファシリテーターの育成をすることは大切だと思う。ファシリテーターが増えることで、対話がしやすい場づくりができる。対話をしていると、話の目的を忘れてしまう時がある。その目的を忘れずに、対話を円滑に進めてくれるファシリテーターがいると時間の短縮にもなり、話が進みやすい。私もファシリテーターの役割を理解して、実際に対話してみたいと思う。より多くの意見やアイデアを得るためには、ファシリテーターは欠かせない役割だ。職員の方が大学への出講だけでなく、中学校の授業でファシリテーターの役割を教えたりするなど、若いうちから市政参加に興味を持ってもらうためにも必要だと思う。今後市民の皆さんが年齢関係や立場など関係なく、ファシリテーターの役割を担えるようになればいいと思う。	A	裾野拡大
60	60	施策7について 市民参加を推進するためのコーディネーターや活動をサポートする事務をできる人など、まちづくりアドバイザーの市民版的な「つなぎ役」を育てる必要があると思います。	A	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
61	462	若い世代の市政参加の推進, 主に子育て世代や学生に対して市政参加をよびかける内容であるが, 若い世代の市政参加は重要かつ難題であると捉えており, 社会人, 学生などの若い世代に向けた活動はとくに次世代の地域社会の活性化に向けて重要である。しかし, 子育て世代の市政参加については推進する必要はあるのだろうか。子育てに勤しむなか, 労働をし, 育休もろくに取れずにいる人は, まだまだ多い現状がある。そんな中, 市政参加への参加推進は負担になると考える。 しかし, 子育て世代にとって, これから親子が生活する地域が住みやすい, より良い街に発展していくために市政参加をし, 自らが地域の一員として活動することは, 各家庭がより良い暮らしをすることにつながる。そのため, 手一杯の子育て世代にも優しい市政参加の方法を見出すという工夫をする必要がある。なるべく現場へ赴かずとも参加可能で, 短時間で参加できる内容のワークショップや, 自宅でも閲覧可能な情報発信などあることが好ましいと考える。若者の市政参加ではなく別項目で子育て世代の推進計画を練る必要があると考えるため, 「次世代につながる市政参加の推進についての取り組み」の項目が工夫することのできる項目であると考え。	A	裾野拡大
62	51	現役だと地域活動にも限界があります。仕事の一貫として関わる機会があると市政やまちづくりに課かわるキッカケになって良いと思います。	B	裾野拡大
63	52	最近, 会社から社会活動を勧められています。町内会以外に参加出来る機会があると助かります。	B	裾野拡大
64	167	参加を広げるといった場合, 全く参加していない人を参加させることに限らず, 既に活動している人の繋がりを活かして, 活動の輪を広げたり, 仲間を増やしたり, はたまた次世代を担う中心的人物の育成やそういった人との関係づくりなどこそ, 裾野拡大の本質ではないでしょうか。 関心のない人にはどれだけ発信しても受け取ってはもらえないように思えます。	B	裾野拡大
65	375	関心を持たない者に問いかけてもなかなか参加につながらない。そういう意味では, もともと関心を持っている方へのアプローチが重要である。まちづくりや市政, 社会に興味を持つ若者がいれば, しっかりとそれを捉えて, 大人との関わりを持たせることや, 興味を持つ者同士が集まれる場づくりもいるのではないかと。	B	裾野拡大
66	34	若い世代への裾野の拡大はとても大事だと思う。それを行政だけでなく, 様々な若者支援団体や学校やキーとなる人々と共に取り組むことが, 効果的なのではないかと。	B	裾野拡大
67	103	基本方針の施策の中で施策7の次世代につながる市政参加が一番大事であると考え。このことが欠けてしまうと, 市政参加をする人数が増えなくて盛り上がり欠けてしまうことになる。ましてやこのようなことが起こってしまうと参加者の年齢層に隔たりが起きてしまうことになりかねない。これらのことは市政参加のみならず文化, スポーツなどどの分野でも言えることであると考えた。	B	裾野拡大
68	374	若者への参加を促すのは正直難しさがある。例えば, 地域の活動に学生に参加してもらっても, その時だけの関心に留まってしまうこともあり, 主体的な参加や継続的な参加につながるにはハードルがあると思う。きっかけづくりなどで裾野を広げるのもよいが, その中で, しっかりと信頼のおける大人等との関わりなどで, 関心をもった若者と顔の見える形で繋がるのが大事なのではないかと。	B	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
69	72	「はじめる」のところで挙げられている「誰もが参加しやすいデザイン」という施策が良いと感じた。市政参加と聞くと、市民は、簡単に参加できるのか、どこで何をしているのかわからないといったマイナスなイメージを持っている人が多いと感じている。そのため、市政参加とはどのようなものでどのように行われているのかというようなことをわかりやすく親しみやすいデザインで表現することによって、より多くの市民に参加してもらえるようになるのではないかと考える。	B	裾野拡大
70	75	楽しみや気軽さが生まれるデザインにするという考え方はとても良いと思います。	B	裾野拡大
71	155	Youtubeを用いた骨子案及び施策の解説は、より多くの人に市民参加の機会を与えると感じました。文章を見るよりも内容が頭に入ってきやすく、市政参加へのハードルが低くなるため施策7における次世代に繋がる市政参加という観点からみても、より良い手段であると考えました。	B	裾野拡大
72	173	この市政参加の施策7がよいと思います。 子どもや学生をはじめ、社会人、子育て世代など、次世代の地域社会を担う若い世代の市政参加しやすい現場を作ると、どんどんよってきて参加すると思います。	B	裾野拡大
73	179	「誰もが参加しやすいデザイン」は、多くの市民（こどもからお年寄りまで）の方が京都市の取組を知るきっかけにもつながると思ったので、ぜひ推進してほしいです。	B	裾野拡大
74	386	もっと若い世代のみんなが市政参加をすれば社会は変わっていくと思った。	B	裾野拡大
75	456	施策5 誰もが参加しやすいデザインが「市民の市政への参加」という目的のために一番重要な取り組みだと感じました。参加しないことには何も始まらないし、様々な立場の様々な人達が参加し、政策を形成していくことが京都市のための政策作りに繋がるはずで。今はそうでもありませんが、これまでのわたしは市政参加と聞くと「難しそう」「専門知識がいるのかもしれない」というようなイメージがあり、私が参加しても意味がないのではないかという思いがありました。市政参加の現状や課題を知る機会があり、むしろ私のような人こそ市政参加をした方がいいのではないかと気づくことができましたが、かつての私が持っていたイメージを抱いているひともいるかもしれません。市民の誰もが市政参加の権利があり、それは京都市のためにもなるのだということを周知させたいので〈施策5 誰もが参加しやすいデザイン〉を実行し、市政参加の輪を広げていくことが今の京都市にとって必要で、効果的なものだと思います。	B	裾野拡大
76	2	「誰もが参加しやすいデザイン」 忙しい中、わざわざボランティアで参加するには、魅力ある内容、参加しやすいやり方を工夫する必要があると思う。	B	裾野拡大
77	3	「まちづくりに取り組むきっかけづくり」 まちづくりには若者の意見を採り入れるべき。学生や若手が参加しやすいよう、スマホやオンラインを駆使したやり方が必要だと思う。	B	裾野拡大
78	144	第3期京都市市民参加推進計画 骨子案に関してウィズコロナへの対応について自分なりに考えて見ました。コロナ禍ということもあり、より市民の声を聞く機会ということも難しくなっているのかなと思います。そこで考えたのがリモートによる市政参加です。この案の主な対象者は学生です。今、コロナ禍ということもあり、社会科学という機会もほとんどなくなってしまったのではないかと思います。そこで、学校の授業時間を使って、京都市の職員の方と話す機会をリモートで設けることで若い世代の意見を多く取り入れるのではないかと思います。	B	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
79	148	<p>「市民の市政への参加の推進」これは、非常に重要なことだと考えます。外国と比べると、日本人（特に若者）は、政治と自分には関係ないと思っているように思います。選挙の投票率も低いです。「どうせ、自分が行動したところで何も変わらない」と考えてしまうからです。</p> <p>しかし、何も考えていないわけではないと思います。何か行動を起こしても、変わった経験がないから、行動を起こすことを無駄だと考えてしまうのだと思います。</p> <p>そこで、学生のうちから、政治を自分事として考えることが重要だと考えます。施策7から、学校で、自分が住む（学校がある）市について学ぶ機会があれば良いなと思いました。</p> <p>また、施策8から、施策や事業を実施する際、どのような部分に市民意見が反映されているのかを、市政に参加した市民にはもちろん、参加していない大勢の市民にも知らせることができれば市政参加の推進に繋がるのではないかと考えました。</p> <p>「自分の行動が変化をもたらす経験」が重要だと考えます。</p>	B	裾野拡大
80	154	市民参加について詳しく知らない人がたくさんいる中で、「はじめる」という分野が最も重要であり、手段にこだわるべきであると考えました。	B	裾野拡大
81	209	小さい子どもと一緒に参加できるようにしてほしい	B	裾野拡大
82	210	出入り自由な素敵な空気感のあるワークショップにしてほしい。	B	裾野拡大
83	218	6頁「施策4」に「市政参加は…市民の権利であり」とある。パブリックコメントを出すことも「市政参加」の大きな方法だと考える。色々な事情で文字媒体を介しての情報の受け取りや発信が難しい人の「市民の権利」が充全に行使出来る仕組みをどのようなプロセスを通して構築しようとするのが、市民に分かるように示される次期計画であって欲しい。	B	裾野拡大
84	250	参加できれば意見も言えて、市政のことも知れて一石二鳥だと思った。ただ参加しにくいという面も共感できた。それを解決するために、参加しやすいデザインにする、仕掛け学を使うというのは興味が湧いた。具体的にどんな仕掛けにしてどう参加を促すか知りたい。	B	裾野拡大
85	292	市政参加についてなどもっとみんなに知ってもらう必要があるなと思いました。より気軽に参加できたらいいなと思いました。	B	裾野拡大
86	382	いろんな人に知ってもらえるように四条や河原町、京都駅などに目につくような派手なポスターを掲示してみたらいいと思う。	B	裾野拡大
87	415	子供の目線と大人の目線では見えるものが違うし考えることも違うと思います。だからこそ子供が関わるべきだと思いました。	B	裾野拡大
88	92	コロナ禍の社会においてはオンライン上での広告や発信、zoomなどのオンライン媒体を駆使した説明会をするなど、効果的であると考えます。	B	裾野拡大
89	166	仕事の中でもまちづくりや市政に参加できるのかもしれないと思いました。	C	裾野拡大
90	473	地域の企業は、地域の子どもたちへのアントレプレナーシップ教育等を通じて貢献できる。	C	裾野拡大
91	61	施策7について まちカフェ事業や祇園祭ごみゼロ大作戦などでもリーダーを育成することもしてきたので、それをもっと京都市の役割として、位置付けることが必要だと思います。	C	裾野拡大
92	62	施策7について 行政区を横断した活動も意識をもってつなげていく取組も含めてほしいです。	C	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
93	445	一度くらいは政治に関わっている人と話す機会があれば理解が深まるとおもう 自分の考えが実現するためにはどのようなリスクが伴うかとか話したい	C	裾野拡大
94	448	ボランティアや町探検など町を知りながらいろんな世代同士の交流ができるプログラムを 色々やる。するといろんな世代の意見をさらに取り入れることができる	C	裾野拡大
95	449	日頃から友達や家族と意見の交換をするようにする。	C	裾野拡大
96	406	説明が難しかったので、中学生にも取り組みやすいようにTwitterなどのSNSを活用したら いいと思いました。	C	裾野拡大
97	414	SNSなどで意見を募集する	C	裾野拡大
98	443	実際に中学生が市政参加して、何かを変えた例をメディアなどでたくさん出す。	C	裾野拡大
99	223	多くの市民が政治や、行政、市政に興味がないのは事実ですが、何で市民は政治にこれほ どまで興味がないんだと思いますか。	C	裾野拡大
100	234	市民が参加しやすい時間帯とありましたが具体的にいつぐらいの時間帯たのか単純に気に なりました	C	裾野拡大
101	411	自分たちの得意なことだけを書いてもらう。気になったものがあればよんで参加してもら う。	C	裾野拡大
102	74	子供や学生、社会人、子育て世代など自制代の社会を担う人への市政参加を推進するとい うことが書かれてありました。若者が市政参加することはとても大切です。そのため、よ り効果的に市政参加に取り組んでもらう方法として、近年流行っているSNSを利用して行 うと良いのではないかと考えます。会場などに行かず、SNSから市政参加できると時間も 短縮でき、若者の身近な存在となれるのではないかと考えます。	C	裾野拡大
103	111	誰もが参加しやすいデザインということで、アニメのキャラクターをデザインの中に組み 込むのはどうでしょうか。去年、稀にみる大ヒットをしたアニメの鬼滅の刃のキャラク ターをデザインにいれると多くの人から好印象を得れると思います。このアニメは大人か らも人気ですし、何より若い世代からの支持がすごいので、若者の参加促進につながる と思います。	C	裾野拡大
104	205	させられる参加は反感しかない。興味も湧かない。利益にコミットすることが必要だと思 う。	C	裾野拡大
105	271	市政参加するのにワークショップや市民公務委員を登用、パブリックコメントが挙げられ ていましたが、参加する人は政策に関心がないと参加できないように感じる人もいたり すると思います。なので簡単に参加できる案はありますか？	C	裾野拡大
106	314	誰もが親しみやすいデザインとはどんなデザインなのかが気になった。	C	裾野拡大
107	389	学生がもっと参加できる様にネットで伝える事が大事だと思う	C	裾野拡大
108	391	市民参加をすれば特徴がもらえたり、政策に関心を持ってもらえるようにする	C	裾野拡大
109	392	京都市民と交流できるリアルなイベントを作ってそこで意見交流をしてかつ、YouTubeも クオリティーをあげ、質問や提案をしやすくしないと無理だと思う。	C	裾野拡大
110	394	料理教室など人が集まりやすいところで、呼びかける。	C	裾野拡大
111	396	若者に人気の漫画やアニメなどとコラボしたらいいと思います	C	裾野拡大
112	398	YouTubeでもらった意見をラジオみたいに返信するコーナーがあれば、意見を送ってみた くなるかも。	C	裾野拡大

Ⅳ 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
113	399	中学生でアナログで意見を送ったりする事はしないと思うので、デジタルに力を入れたらいいと思う。	C	裾野拡大
114	402	もっと日頃から通るところにパンフレットやポスターを置いておく目に入るから参加しようと思う人がいると思う。	C	裾野拡大
115	403	パンフレットだけでなく、もっと認知度を上げ誰でも参加しやすくなるように京都市のアプリを作ったり、TwitterやInstagramを活用したりして、京都の情報をあげたり意見を集めたりすればいいと思う。	C	裾野拡大
116	416	市政参加、というから難しいようなイメージをもつと思うし、参加したい人は必ず居るのでネーミングを馴染みやすいものにすればいいと思う。	C	裾野拡大
117	422	発信力が大事だと思います。ただ発信するのではなく中学生が興味を持つような。簡単に簡潔にして入りやすくしたり少し遊びを用いたり。	C	裾野拡大
118	424	こういう機会を増やしていき、行政ではあまり考えられないような意見をどんどん取り入れていき、自分が考えた案がちゃんと取り入れられたんだとわかるようなことをすれば良いと思った。	C	裾野拡大
119	426	SDGsバッチをコンビニと協力して発売したというのを聞いて、仕かけ学の一環としてパンの袋にバッチの内容を印刷したりしたらバッチを買う人だけでなくパンを買う人も読むことになり、知ってもらえる機会が増えるのではないかと思います。	C	裾野拡大
120	429	もう少し知名度を上げ、貴重な土日の1日を潰してもいいぐらいの大きな楽しいイベントをし堅苦しいイメージを緩和する	C	裾野拡大
121	430	学生が行きやすい場所でまちづくりに関するイベントや説明会などをすればいいかもしれない。	C	裾野拡大
122	431	無理に市政参加を促しても良いアイデアは思い浮かばない気がするので中高生が遊びに行ったりする場所に市政参加に関するなにかを置くといい気がします。そうすれば友達と話し合うこともできます	C	裾野拡大
123	432	オリジナルのYouTubeチャンネルを作って市民のみんなが見たいと思う動画を作る。まゆまるを登場させて、全国に京都のまちづくりについて発信していくのもいいと思う。	C	裾野拡大
124	433	色々な人が意見を吐けるようなサイトを作って、みんなの意見を元にまちづくりをすればいいと思う。	C	裾野拡大
125	434	アンケートを日常に組み込むことが認識を広める近道だと思うので切符を買うところや、自販機などでアンケートがあればいいと思う。	C	裾野拡大
126	444	「意見ください」だけでは集まらないのが若い世代の特徴だと思うので、やっぱり参加することのメリットをわかりやすく伝えることが大事なのではないかと思った。参加することによる報酬をつける等	C	裾野拡大
127	447	中学生が作った作品をふるさと納税のような制度で売る	C	裾野拡大
128	383	中学生や高校生の若い声を聞く機会をより多くつくる 公演やイベントを開く	C	裾野拡大
129	441	(学生が)京都市役所などに実際に行って、職員とディスカッションする。	C	裾野拡大
130	322	大人でも難しい言葉や理解し難い問題とかあると思うのでちょっとでも簡単に教えてもらえれば助かると思う。	A	定義・文言・図
131	182	全体的に、「多様な主体」ということができてきますが、外国人住民や外国にルーツのある日本人なども入っていますか？ 市民参加のいい仕組みが京都にはあるので、そういう仕組みをより多くの方に使ってもらっていいまちづくりができるようになればいいなと思っています。	A	定義・文言・図

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
132	199	市政への参加の定義がわかりにくい。	A	定義・文言・図
133	200	市政参加というが, 何をもって参加なのか。	A	定義・文言・図
134	224	次世代, とは具体的にどこの世代の事ですか。	A	定義・文言・図
135	286	言葉が難しくて全体的にわかりませんでした。市政参加とは, 何ですか。具体的に何をやるのですか。	A	定義・文言・図
136	299	難しい言葉が続いてよくわかりませんでした。より効率的な事業とはどういうことですか? 具体的に教えて欲しいです。	A	定義・文言・図
137	260	「ナッジ」「仕掛け学」ってなんですか? ユニバーサルデザインがどんなものなのか説明が欲しいです。	A	定義・文言・図
138	326	施策5について 「誰もが参加しやすいデザイン」のデザイン, 「参加に楽しみや気軽さが生まれるデザイン」のデザインが何を指すのか不明でした。前者は, Youtubeの説明で概ね理解できましたが, 後者は, 「ナッジ」や「仕掛け学」との説明に留まり, やや難解でした。 安易に「デザイン」という用語を使わない方が良いのではないかと感じました。	A	定義・文言・図
139	222	短い動画でわかりやすく, 可愛いキャラクターもいて見やすい動画でした。	B	定義・文言・図
140	252	少し動画見てもわかりませんでした。熱意は伝わるのですが画像を使うなどわかりやすく動画を作って欲しいです。	C	定義・文言・図
141	267	認知度のためにされているYouTubeも 難しい言葉も多くて, 単調なイラストと文字しかなくて 何を考えられているのか全くわかりませんでした。	C	定義・文言・図
142	244	市民の意見を取り入れるために, どのような機会を設けるのか。また, 動画で話していたことが, 決まったことをそのまま話しているように聞こえてよくわからなかった。簡単に言えばどうなのかがわかりづらかった。	C	定義・文言・図
143	258	まず, 内容というより動画自体が見にくかったです。もっと登場人物に動きをつけるなり, 見てて飽きない工夫をするべきだと感じました。そして冊子の説明も入れるべきだと思います。	C	定義・文言・図
144	262	動画が始まるまで長い。サムネも工夫するべきだと思います。画面の上に空白があるのでそこに字を置けばもう少し見やすくなるのではないのでしょうか。	C	定義・文言・図
145	312	動画が文字と音声ばかりでわかりにくかった。	C	定義・文言・図
146	318	市民のとの未来像とはどのような物ですか。	C	定義・文言・図
147	251	情報発信をしようと言っていたけれど, どのような方法で発信するのか。情報を発信して, その情報をどのようにして市民の人たちに見てもらおうのか。ただ単に発信するだけでは見てもらえないのではないのか。	B	未来像・課題の共有

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
148	85	市民の市政への参加を推進するためには、「市民が市政へ参加できる」という事を広く知ってもらうことが最も重要だと考えている。 私は実際、「市政参加」という言葉を大学生になるまでは全く知らなかった。しかし、この講義を受講したことで初めて、市民でも市政に参加できるという事を知り、市政参加してみたいという気持ちが生まれた。 どんなに市政参加しやすい制度が整っていたとしても、それが認知されていなければ市民は市政に参加できないのである。 そこで、施策の一つに「『市政参加』出来る事を広く認知してもらう」というようなものを入れてみても良いと感じた。	B	未来像・課題の共有
149	76	施策①情報発信について、発信側が受信者にしっかりと伝えられていないと意味がないと思います。私の意見としては、施策①のなかでSNSを利用するとか書いてありましたが、そもそも「第3期京都市市民参加推進計画書 解説YouTube」でさえ私が見た時にはまだ32回の視聴回数でした。若者向けにアニメ方式で作ったのかもしれませんが、そもそも32回しか見られていないのであれば情報発信できてませんし、わかりやすくアニメでしたつもりが、若者どころか主婦（夫）層や高齢者にも受け入れられにくい発信方法になってしまっているのではないかと感じました。インフルエンサーに市政参加の促しを求めたり、若者が目を向ける場所に発信しないと「ただ発信しているだけ」の自己満足になってしまう気がします。	C	未来像・課題の共有
150	100	・基本方針1について 施策1の「到達を重視する情報発信」について、具体的な情報発信手段やどのように「到達」の指標を測定するのかについてお伺いしたいと思います。	C	未来像・課題の共有
151	236	京ばぶについて私は授業で初めて知ったし、まだ動画も2個しか見てない。配布された本もしっかり読んでない。知識が全然ない状態なので基礎的な情報ぐらいは知っとこうと思った。 市民の参加が必要な京ばぶ。市民が知らないと話にならないはずなのに、実際私と周りの子も知らないし、家でもそういう話は聞かないのですがどこにどういった広報活動をしているんですか?(?)	C	未来像・課題の共有
152	254	どこでやっているのかわからない。行きたいと思えるほど内容がしっかりあるのか。参加のハードルを下げるとあるがそもそも認知度が低すぎるような気がする。過去参加した人はどれぐらいいるのか？やったのだとすればそこから何か市政が変わったりしたのか。	C	未来像・課題の共有
153	264	誰もが参加しやすいデザインの他に、この計画をまだ知らない人や子供に、この計画を知ってもらう工夫はあるんですか。	C	未来像・課題の共有
154	266	初めにこのプロジェクトについての認知度を上げないと思います。動画を見ていて市民の協力と知恵が必要だと言っておられましたが、自分も含めて初めて聞いたプロジェクトの名前だと思います。	C	未来像・課題の共有
155	289	若者の参加が大切なんだと知りました。ですがわたしも含めて、このプロジェクトの認知度はとても低いと思います。なのでこれをどうやって広めていくのですか??	C	未来像・課題の共有
156	295	市民参政の機会は設けられているが、どのようにそのことを伝えていくのですか?	C	未来像・課題の共有
157	321	この授業でこのプロジェクトがあるのを初めて知ったが、京都市民に対してどんなふうにアピールしているのか、できているのか知りたい。(多分親もこのプロジェクトは知らないと思う)	C	未来像・課題の共有

IV 推進施策 基本方針2

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
158	1	「到達を重視する情報発信」 例えば、令和元年10月パブコメ「幼児教育・保育の無償化における認可外保育施設の取扱いに関する市民意見の募集について」が結果を公表しないまま放置されている。まずは最低限の情報発信やホームページのメンテナンスをしっかりとしてほしい。	C	未来像・課題の共有
159	319	情報発信は具体的にどのような事を数値化, 図示化するのですか？	C	未来像・課題の共有
160	268	市民はそちらにアイデアを提供しますが, 暮らしやすい街以外に何を提供して頂けますか？	C	その他
161	257	実際に参加している学校はどんなのがありますか？このような取り組みはどの地域で行われていますか？	C	その他
162	380	(参加する側も) 政治のことなど事前に学んでおく	C	その他
163	89	現在最も社会的脅威として扱われるコロナウイルスによる, 損失や打撃についての対処が最も重要だと考える。皆が不利益や悪影響を受けているため, 中途半端な補助や対策ではかえって批判を浴びてしまうのではないかと危惧している。健康面の被害やそれに付随する担い手不足はもちろんだが, 経済的な打撃を受けている市民も多くいるだろう。補助の線引きや, 感染対策による市民活動の抑制の範囲などを定めるのは容易ではないと理解しているが, ここでの各地方行政の判断は, 大きな目で見ても国家単位で影響すると思うので, 慎重に判断して欲しいと思った。公共の福祉の観点から見ても, 市政はもっと積極的かつ深くに介入していくべきだと思う。このような前代未聞の状況が訪れたときに, 市民の安全を考え, 批判を恐れずに, 臨機応変かつ迅速に対応できるのも, 「良い行政主体」の一つのモノサシとして, 据えておくべきだという意見である。	D	その他

IV 推進施策 基本方針3

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
1	21	理念の素晴らしい計画だが、それだけでなく、計画である以上目標値があってもいいのではないか。	A	具体化
2	275	具体性がなかったので、具体例を付け加えて欲しいです。また、どのように行うのかも聞きたいです。	A	具体化
3	278	全てにおいて具体例が少なかったので具体的にどんなことを行うのかが知りたいです。より多くの市民がまちづくりに興味を持って参加するために楽しみや意義を具体的にどうやって感じてもらうのか。	A	具体化
4	108	市政参加の仕組み自体をより多くの人に認知してもらうための様々なプロセスについて、詳しく記してはいかがでしょうか。そうすることで市政参加に対するイメージが湧きやすくなり、より参加する市民が増加するのではないかと思います。	B	具体化
5	248	具体的に大学や企業とどのような政策を出していくか教えて欲しいです！	B	具体化
6	288	内容が難しかったです。具体的支援の方法を教えてください。	B	具体化
7	300	参加のハードルを下げる為にどういうことを行おうと思っているのでしょうか？	B	具体化
8	311	このコロナの非常に大変な時期ではありますが、その中で「財政支援」をどのように取り入れていくか具体的に教えてほしいです。	B	具体化
9	242	まちづくり活動を継続するための支援というのは、具体的にどのように支援するのか知りたいです。	B	具体化
10	259	内容的には、もっと具体的に施策の説明や取り組みをあげるべきだと思いました。実際に京都市に住んでいますがこのような施策が行われていても自ら参加しようとは思えないです。このような市民が多いとせっかくの取り組みが勿体無い結果になってしまうと思うのですが、その辺りどのようにしていこうとお考えですか？	B	具体化
11	284	企業などと連携する場合、Win-Winの関係が築ける道筋はお考えですか？	A	計画の方向性・期待
12	276	どうやって市民がこの施策に賛成してくれるのか？メリットは？	B	計画の方向性・期待
13	341	まちづくりに取り組むメリットが見えてこない。「SDGs達成」「良好な地域コミュニティの維持・形成」では無関心層に届かない。メリットを持たせるか、「無関心層は京都市に住むな」のどちらかでは。	B	計画の方向性・期待
14	16	コロナで人とのつながりを大切さを実感する。今こそ繋がりづくりを支援したり、繋がりを強化することが必要だと思う。	B	計画の方向性・期待
15	18	コロナで状況が変わる今は、計画で事業を固めきるのではなく、より多くの人と共有できる考え方や理想を示し、柔軟に対応出来るものにしてほしい。	B	計画の方向性・期待
16	33	v施策13 多様な主体の協働による社会課題解決への挑戦 京都市内は広く、地域ごとの課題がさまざまであるので、住む人、通う人、子どもからお年寄りまで、さまざまな世代によって、地域の課題を解決できる取り組みを進めていきたい。行政がやってくれるのを待っている時代は終わったと思う。みんなで意見を出し合い対話して、地域を支えていく取り組みを進めていきたい。	B	計画の方向性・期待

IV 推進施策 基本方針3

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
17	64	現代の社会課題解決への挑戦は、簡単なことでは無いと思いますが、簡単な正解がないからこそ、今までのように議論を重ね続けて効果の分からないものを長期間かけて作るべきではないと思います。スピード感を持って実際の効果を繰り返し検証して、実効性のある解決方法を世の中に広めていくことが大事だと思います。	B	計画の方向性・期待
18	79	パートナーシップや協働の重要性が訴えられている中でSDGsを背景とした多様な主体の参画促進を行うことは地域だけでなく社会の課題への活動意欲を高めるもので素晴らしいと思いました。	B	計画の方向性・期待
19	87	はじめる。つながる。広がる。の3つの輪を意識して、行政活動の施策の立案をするというのは、市政参加制度への認知度や参加率の低迷といった最も大きな課題を意識しているので、とても共感できた。	B	計画の方向性・期待
20	88	企業などの事業者をはじめとした、多様な主体と協働するというのは、昨今の複雑な社会情勢の中では重要な役割を帯びてくると考えるので、行政として適切な補助や協働が為されるように方針に盛り込まれていて良かったと思う。	B	計画の方向性・期待
21	153	基本方針の、市民との未来像・課題の共有に基づいたうえで、市民の市政への参加の推進や市民のまちづくり活動の活性化を行うという考え方が、わかりやすく素敵だなと感じました	B	計画の方向性・期待
22	226	対等なパートナーとして協働できるというところが、意見も出しやすくなるので良いと思った。色々な団体を集める時にどのようにして集めるのか気になった。	B	計画の方向性・期待
23	401	年齢関係なく関わられて市内がより明るくなる取り組みをしてみたい。	B	計画の方向性・期待
24	12	コロナで事業の限界や行き詰まりが見えてくる中、新たな事業展開を考える必要があるが、ニーズがあるところにビジネスの種がある。社会の課題はその宝庫だと思うので、行政との連携は、社会課題の解決だけでなく、新たなビジネスの創出にも役立つと考える。	B	計画の方向性・期待
25	194	市民参加については、ワークショップ等の手法論に依るものではなく、実質的な取組に近づけていただきたい。	B	計画の方向性・期待
26	330	施策11で、地域住民組織と活動団体等の交流と協働を促進することが、今後の地域づくりの一番重要なことですので、これまで以上に市が両者をマッチングする機会の提供をお願いします。	B	計画の方向性・期待
27	56	市役所と組んでソーシャルな仕事をしたいです。	C	計画の方向性・期待
28	36	施策12にある「持続可能なまちづくりを支援する仕組み」とありますが地域で行われているボランティア活動などで、参加年齢層の高齢化などで今後の活動が困難な箇所もあるのが現状だと思います。 そうになっている原因として私が考えているのは、資金援助が不足していることと、地域の活動を知る機会がないことだと考えています。謝礼とまでは言わないまでも活動に参加しに行くまでの交通費が十分賄える程度の資金援助と、活動にマッチングできる機会や場所を増やすための政策を進めることは可能でしょうか。	C	計画の方向性・期待
29	207	言いたいことを言うだけの参加は参加ではないと思う。行動につながる仲間の拡大でないという意味がないのではないか。	C	計画の方向性・期待

IV 推進施策 基本方針3

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
30	353	とても良い計画だなと思いました。 南三陸の祈念公園の管理（ゴミ掃除・雑草対策）について、行政だけでは維持できないこともあり、町の人達でどう関わっていくかを考えているところですが、ただ管理するとなると、持ち回り、厄介ごととなるので、公園を楽しく使って、そのついでにきれいにするような管理をしようとしています。 ここでも、色んな人達がかかわれるように、全体のプロジェクト名と理念はあるけれど、ルールがない形で、やってみようとしています。何かやりたいを事務局が全て管理していくのではなく、誰でもいつでも祈念公園を活用した活動をする際はプロジェクトに参加していることにして、町の人々の自由活動を高めて楽しくプロジェクトが進むようになると良いと考えています。これから始動なので、うまくいかないかもしれませんが。。。最低限のルールはあるかもですが、ある程度自由さがある方が、町の人々が社会課題に自らを投じて楽しむことにつながるのではないかなと思います。	C	計画の方向性・期待
31	356	パブリックコメントについて 宝塚市には意見をまとめて、結果を公表するだけでなく、パブリックコメントの運用について市民委員がチェックする仕組みがあります。運用についての透明性を高めることは、パブリックコメント数が多い京都市にこそ必要な仕組みだと思っておりますので、ぜひ導入を検討していただきたいです。	C	計画の方向性・期待
32	143	市民参加を実践する職員の育成を行っており、より市民参加がしやすい環境になっているのではないかと思います。	B	職員・体制
33	193	区役所や行政自体がコーディネート役を果たすのならば、市職員ではないアドバイザーなどはより専門性の高い人材を求められると思う。	B	職員・体制
34	32	施策11 地域コミュニティ活性化への支援について 新型コロナの影響で、学区の活動がほとんどできていないように見受けられる。高齢者が主体の自治連ではオンラインへの対応など難しいのではないかな。もっと幅広い世代が参加する地域コミュニティになるように、区役所を中心に支援、協働できるような仕組みづくりをしていきたい。	A	裾野拡大
35	80	市民が市政参加しやすい環境を整え、様々な年代の意見を取り入れるための取り組みを行うことを基本方針に掲げていたが、実際私達が生活していて「市政参加」という言葉や取り組みはまだまだ浸透していないように感じます。学生などの若い世代の意見を取り入れるためには、中学や高校の授業プログラムの中に市政参加と取り入れて認知度を上げることが必要だと思いました。	A	裾野拡大
36	206	並行して、子どもたちには教育を通じて素養を育てることが有用ダト思う。	A	裾野拡大
37	410	なかなかまちづくりのためのイベントの参加がなかなかできないので、学校で授業として取り入れたらいいと思った。	A	裾野拡大
38	8	まちづくりにもっと参加したいが、町内会以外の活動をしたい。もう少し幅広い参加のきっかけがあると良いと思う。	B	裾野拡大
39	51	現役だと地域活動にも限界があります。仕事の一貫として関わる機会があると市政やまちづくりに課かわるキッカケになって良いと思います。	B	裾野拡大
40	52	最近、会社から社会活動を勧められています。町内会以外に参加出来る機会があると助かります。	B	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針3

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
41	107	私は、今回の「第3期京都市市民参加推進計画 骨子案」について、重視する視点がとても適切なものであると感じます。より多くの市民が市政参加をしやすいようにする環境づくりを行おうとしている点にとても好感を持ちました。その理由として、まず現段階では市政参加を行なっている絶対数自体が少なく、より良いまちづくりを行う上では意見が偏っている場合があるからです。	B	裾野拡大
42	2	「誰もが参加しやすいデザイン」 忙しい中、わざわざボランティアで参加するには、魅力ある内容、参加しやすいやり方を工夫する必要があると思う。	B	裾野拡大
43	3	「まちづくりに取り組むきっかけづくり」 まちづくりには若者の意見を採り入れるべき。学生や若手が参加しやすいよう、スマホやオンラインを駆使したやり方が必要だと思う。	B	裾野拡大
44	92	コロナ禍の社会においてはオンライン上での広告や発信、zoomなどのオンライン媒体を駆使した説明会をするなど、効果的であると考えます。	B	裾野拡大
45	142	京都市という土地の特性上、学生が多く住むまちであるので、学生という資源を活用しつつ、市民や職員が大学機関と共同していくべきだと感じた。学生の参加のハードルを下げするためには、大学等での支援体制も重要であると思った。	B	裾野拡大
46	154	市民参加について詳しく知らない人がたくさんいる中で、「はじめる」という分野が最も重要であり、手段にこだわるべきであると考えました。	B	裾野拡大
47	167	参加を広げるといった場合、全く参加していない人を参加させることに限らず、既に活動している人の繋がりを活かして、活動の輪を広げたり、仲間を増やしたり、はたまた次世代を担う中心的人物の育成やそういった人との関係づくりなどこそ、裾野拡大の本質ではないでしょうか。 関心のない人にはどれだけ発信しても受け取ってはもらえないように思えます。	B	裾野拡大
48	178	古くから住む市民だけでなく、新規で移り住んだ市民にも参加しやすいまちづくりの在り方を模索してほしい。また、より気軽に「できるところから」参加できるようなまちづくりの形はどういったものかを検討してほしい。	B	裾野拡大
49	203	まちづくりをされている団体は沢山あるが、世代に偏りがある。ただ、世代代わりは簡単ではなく無理にできるものでもない。新しい入口が沢山あることが裾野の拡大につながるのだと思う。	B	裾野拡大
50	415	子供の目線と大人の目線では見えるものが違うし考えることも違うと思います。だからこそ子供が関わるべきだと思いました。	B	裾野拡大
51	452	「第3期京都市市民参加推進計画(骨子案)」の動画と資料を見て、私が3つの基本方針の目的達成のために、最も効果のあると考える施策は、施策9の「まちづくりに取り組むきっかけづくり」である。特に、サービスを受けた経験から提供者になる工夫をするという部分がとても効果的だと思った。自分なら、興味があってもどのように参加すればいいかわからないというとき、仲間がいると心強く、参加しやすくなるし、参加しやすい環境があるとやってみようという気になる。経験者がそのような人を呼び込むことで参加者の輪が広がり、まさに参加の好循環が生まれると考えられる。そのために、もともと参加していた人が周りの人を巻き込みたいと思えるようにする必要があると思う。参加することでの楽しさや意義を見いだせる工夫をすることもとても大切だと思う。興味があり参加してみたいと思う人は窓口に行ったり、ポータルサイトも見たりと思うので、情報発信することも意味があると思う。さらに、参加している市民が情報発信者になることでリアルな声分かり、楽しさが分かり、参加のハードルを低くすることもできると思う。市民が市民を呼び込み参加の輪が広がることは、市民のまちづくりの活性化に最も効果があると思う。	B	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針3

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
52	63	施策9について ハードルを低くする, 楽しさや意義を感じてもらう意味では, 子どもでも理解できる言葉を使った情報提供が必要だと思います。そうすることで, 子どもはもとより, 海外からの移住者にも, やさしい日本語で理解してもらえ, みんなが理解することで, 対話も生まれると思います。現在は, コロナ禍のため難しいかもしれませんが, 成人式のように, 半年に一度, 新入居者を歓迎する。隣人祭りを開催する方が, 学区の防災訓練よりも効果があると思います。	C	裾野拡大
53	65	施策9について 市民のまちづくり活動に参加することでポイントをもたらえるような仕組みを作れば, 参加のハードルも下がり, 楽しみながら参加しやすくなると思う。それが, 学生にとっては, 成績に加算されるとか, 飲食店でのサービスになるとか, 電車の運賃の割引や, 駐輪場の料金免除に使えるといいのでは。ポイントをためると同時に, 市民活動のアイデアだったり, 要望もアプリを通じて共有できたり, 交流できるものになれば, 若手の市民参加が増えるのではないかな?	C	裾野拡大
54	106	自治会や町内会と若者が交流し, 地域住民の自主的かつ活発な地域活動を協働で行うにあたって, 若者の新しい考え方や価値観が受け入れられるような地域コミュニティを作る必要があると思う。若者が年齢の離れた大人に対して自分の意見を言いにくい環境は必ず生まれるものであるだろうし, それによって年長者の意見だけが採用されていく状況になってはならないと考える。	C	裾野拡大
55	109	SDGSについて学生が話し合えて, 意見を出し合えるイベントとどのような取り組みが必要なのかを何かの音楽フェスなどと協力して盛り上がるイベントとコラボして開催すると大学生も興味もつと思う	C	裾野拡大
56	122	基本方針3であるが, 活動をまず「はじめる」ことが何よりも大切なので活動を知らない人にもきっかけを与える必要がある。そのはじめる工夫としてYouTubeやSNSのような誰でも簡単に参加できることから始めていくのが良いと思う。	C	裾野拡大
57	165	まちづくりに関心があるのですが, どうもハードルがあります。本気度が高くない人でも入りやすい入口がほしいです。	C	裾野拡大
58	166	仕事の中でもまちづくりや市政に参加できるのかもしれないと思いました。	C	裾野拡大
59	205	させられる参加は反感しかない。興味も湧かない。利益にコミットすることが必要だと思う。	C	裾野拡大
60	233	まちづくりに取り組むきっかけをどうやって作るのか。	C	裾野拡大
61	235	市民がまちづくりに参加するのはとても大切な事だと思いました。でも, この取り組みについて知ってもらうきっかけが必要だと思います。どのような方法で知ってもらおうと考えているのですか。	C	裾野拡大
62	283	新しい参加者が活動に参加しやすくするために情報収集や意見交換をする場のデザインを工夫するとおっしゃいましたが, 具体的にどのような工夫を取り入れていくつもりですか? 参加したくなるデザインをするのならば動画の編集ももっと凝るべきだと思います。	C	裾野拡大
63	316	まちづくりカフェについては, 「カフェ」よりも「バー」など一対一になるようにして話しやすい空間を作った方が良いのではないかな。他の具体的な案はどんなものがあるのか。	C	裾野拡大

IV 推進施策 基本方針3

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
64	364	地域コミュニティ活性化への支援について、学区単位で活動している各種団体も役員が高齢化しており、活動の限界を感じる。核になる若手世代に運営をまかせて、地域ごとの課題を担い、解決していけるような取り組みを支援していただきたい。具体的には、地域の人が担えるさまざまなソーシャルセクターで、子育て支援や高齢者の支援を行えるよう働きたい人が有償ボランティアを行ったり、歩いていける範囲のまちの課題を小中高校生に考えてもらい、授業や土曜日などに一緒に活動できれば、若手の担い手を育てていくこともできるのではないかな。	C	裾野拡大
65	411	自分たちの得意なことだけを書いてもらう。気になったものがあればよんで参加してもらう。	C	裾野拡大
66	425	地域コミュニティ活性化のために、地域で毎月行事(七夕に竹を切ったり、お正月にしま縄を作る)を開催したら、コミュニティが深まると思う。	C	裾野拡大
67	448	ボランティアや町探検など町を知りながらいろんな世代同士の交流ができるプログラムを色々やる。するといろんな世代の意見をさらに取り入れることができる	C	裾野拡大
68	455	改善・工夫した方がよいと考える施策は、施策11の地域コミュニティ活性化への支援である。地域住民組織、地域の市民活動団体や事業者、学校、大学等の各主体の交流と協働を促進することは重要であるとする。しかし、これらの数は多いため交流や協働が大変であるとする。また偏りがあるとする。私は看護学科から今の地域社会も学べる学科に編入した。看護学科では、学ぶことは看護に関する専門科目がほとんどで地域社会を学ぶことはめったになかった。京都市内の大学にいるが、京都市市民参加推進計画の存在すら知らなかった。これらより、同じ大学にいても、伝わる人が限られたり、同じ人ばかりが、京都市市民参加推進計画に詳しくなったりすると考える。その結果が、無関心な人や人任せにする人が生まれたり若者の選挙に対する姿勢が不十分であったりすると考える。	C	裾野拡大
69	472	サラリーマン化して職住接近でなくなった時代に、企業や経済団体等の中で、社員が地域に意識を持つような場や機会を提供する、地域とのつながりづくりすることが重要。	C	裾野拡大
70	473	地域の企業は、地域の子どもたちへのアントレプレナーシップ教育等を通じて貢献できる。	C	裾野拡大
71	133	SDGsを背景とした多様な主体の参画促進の項目で、2030年を目標としたSDGsの達成とあるが、SDGsとは何なのか、達成目標とはどういったものなのかをまずは具体的に示した方が、幅広い年齢層の市民の理解を得られやすいと考えました。	A	定義・文言・図
72	192	「まちづくり」という言葉が氾濫しており、そもそもの定義がわかりにくい。まちを住みよくする活動全てを指すのか、どのような取組のことをイメージしているのか抽象的な印象を受ける。	A	定義・文言・図
73	182	全体的に、「多様な主体」ということばがでてきますが、外国人住民や外国にルーツのある日本人なども入っていますか？ 市民参加のいい仕組みが京都にはあるので、そういう仕組みをより多くの方に使ってもらっていいまちづくりができるようになればいいなと思っています。	A	定義・文言・図
74	225	「みんなごと」というシステムについてもっと詳しく知りたいと思った。	B	定義・文言・図
75	240	企業や大学、NPOなどが連携して支え合うとあるが、京都に店舗、校舎を置く府外の企業、大学もそれに参加してもらえるのか。もし参加してもらえない、又は完全に京都のみと絞るのならどういった形で行うのか。	B	定義・文言・図

IV 推進施策 基本方針3

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
76	258	まず、内容というより動画自体が見にくかったです。もっと登場人物に動きをつけるなり、見てて飽きない工夫をするべきだと感じました。そして冊子の説明も入れるべきだと思いました。	C	定義・文言・図
77	267	認知度のためにされているYouTubeも 難しい言葉も多くて、単調なイラストと文字しかなくて 何を考えられているのか全く分かりませんでした。	C	定義・文言・図
78	272	京都市のこれからの3つの方針が動画を見て少し理解することができました。しかし、動画にあまり変化がなく専門的な観点が多かったので、少し伝わりにくいなと見ていて感じました。	C	定義・文言・図
79	315	動画については、音声に合わせて文字を出すのではなく、先に図にしてまとめておいた方が良いのでは無いか。	C	定義・文言・図
80	231	「きっかけ」を作る、というのはすごくいいと思いますが、YouTubeを見ていて、チャンネル登録者数、視聴回数の数字から、知名度を上げないといけなかなと思いました。(自分も京都市民ですが、知りませんでした。)今現在、知名度を上げる為に行っている取り組みを知りたいです。	C	未来像・課題の共有
81	266	初めにこのプロジェクトについての認知度を上げないと思います。動画を見ていて 市民の協力と知恵が必要だと言っておられましたが、自分も含めて初めて聞いたプロジェクトの名前だと思います。	C	未来像・課題の共有
82	273	市民参加のマネジメントを組み込むのはいい計画だと思いますが、初めて各局の方針を見た人は理解しにくいと思います。具体的にこの推進企画はどのような方法で市民の元にわかりやすく伝えるのですか？	C	未来像・課題の共有
83	1	「到達を重視する情報発信」 例えば、令和元年10月パブコメ「幼児教育・保育の無償化における認可外保育施設の取扱いに関する市民意見の募集について」が結果を公表しないまま放置されている。まずは最低限の情報発信やホームページのメンテナンスをしっかりとしてほしい。	C	未来像・課題の共有
84	257	実際に参加している学校はどんなのがありますか？このような取り組みはどの地域で行われていますか？	C	その他
85	308	SDGsについてで大学などで意欲が高まっている事をはじめって知って驚いた	C	その他
86	228	色々な団体が協力して、取り組むことは分かったけれど、具体的な取り組みで決まっていることや実行していることはありますか？	C	その他
87	268	市民はそちらにアイデアを提供しますが、暮らしやすい街以外に何を提供して頂けますか？	C	その他
88	303	どんな地域の問題をどのパートナーと今進めているのか知りたい。実際に進めている活動はあるのか。	C	その他
89	304	もし市民が全く参加しなければどうしますか？	C	その他
90	352	街づくりの第一歩は、まちづくりニュースの発行と考えます、地域の問題点の共有からはじめ、発行回数を積み重ねる事が何より大切と考えます。 問題解決の輪を大切にする手段には会合もありますがより多くの住民の関心を集めるためにニュースの発行は欠かせないと思います。何よりも会の存続には必要な手段と考えます。 。主なメンバーにとっても発行回数は強い力になるのではないのでしょうか。まちづくりの基礎を築く為には財政的援助は不可欠と考えます、京都市は財政難の折ですが、基礎投資は必要と考えます	C	その他

IV 推進施策 基本方針3

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
91	464	施策10の「SDG sを背景とした多様な主体の参加促進」の提案内容を工夫する必要があると考える。なぜなら、地域団体と市民活動の取り組みの連携などの全体の活動だけでなく、例えば、ビニール袋を利用せずにエコバックを利用することや水道を使うときはこまめに止めるなど、市民に日常生活でできるSDG sの取り組みを分かりやすく、身近に推進していくことで、市民のSDG sに対する意識がさらに高まると考えるからだ。	C	その他
92	23	施策10(P7)SDGsについて、国連は発展途上国を目印にしているの、G7の日本がアピール対象とすることは如何か。明治初期に、森有礼が「日本を英語圏にすること」を主張したというが、京都市内の国際協調において、日本語・日本文化・京都市民の日常生活を大切にしてほしい。	D	その他
93	89	現在最も社会的脅威として扱われるコロナウイルスによる、損失や打撃についての対処が最も重要だと考える。皆が不利益や悪影響を受けているため、中途半端な補助や対策ではかえって批判を浴びてしまうのではないかと危惧している。健康面の被害やそれに付随する担い手不足はもちろんだが、経済的な打撃を受けている市民も多くいるだろう。補助の線引きや、感染対策による市民活動の抑制の範囲などを定めるのは容易ではないと理解しているが、ここでの各地方行政の判断は、大きな目で見て国家単位で影響すると思うので、慎重に判断して欲しいと思った。公共の福祉の観点から見ても、市政はもっと積極的かつ深く介入していくべきだと思う。このような前代未聞の状況が訪れたときに、市民の安全を考え、批判を恐れずに、臨機応変かつ迅速に対応できるのも、「良い行政主体」の一つのモノサシとして、据えておくべきだという意見である。	D	その他
94	95	市民のまち作り活動の一環として、交通状況の改善が考えるべきだと思う。私は学生として、京都に下宿しているが京都市内の交通状況は最悪だと思う。この交通状況で学生がこのまま京都市内に根付いたり、車が必要になるファミリー世帯は京都市内に引っ越してくることは難しいと思う。これを改善することが持続可能な町作りにも繋がると思う。まず走行車線に駐停車している車が多すぎると思う。駐車場が少ないことはわかるがメイン道路の走行車線を塞ぐことに対する罪悪感がなさ過ぎる。特に配達業者や社用車が目立つので条例などで取り締まるべきだと思う	D	その他
95	104	コロナ禍において持続可能な社会をつくることは今後さらに重要になってくると思います。そして新型コロナウイルスの悪影響は多岐に渡っており、経済活動への大打撃に加え、適切な医療や教育を受けられない人が急増し、高齢者や非正規雇用の人たちなど弱い立場の人により被害が出ることで、格差も拡大している現状があります。こうした中、昨年起きた台風10号では三密の避難所に人が集中し、その避難所にも入れない人が続出するなど災害へのぜい弱さも露呈しています。災害が起きたとき三密を避けた避難を今から考えていくことや、コロナの影響で経済的に学校に通えない学生への支援などを優先的に取り組む必要があると思います。	D	その他
96	177	子どもたちが安全に遊べる場所、特にボール遊びをできる場所が市内では限られているように感じるため、もう少し子どもたちがのびのび遊べる場所が増えたらいいと思います。	D	その他
97	180	市バスのキャリーケース置き場はとていい案だと思います。ですが、混雑時にあのスペースが開いてしまうのはもったいないと感じております。困ってしまうのではなく、パーにするなど、混雑時には人も入れるような仕組みになればと思います。	D	その他

IV 推進施策 基本方針3

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	分類
98	213	(施策11について)これまでも水害の際にエリアメールを送信頂いているところ、避難先は歩いて行ける小学校となっていた。学区内には、老人介護所が複数あり、消防局の指導を受けている。それ以外の老人を自治連会長以下が連れて逃げる事になるが、施設の老人まで同行すると多人数になりすぎるのではないか。避難先での合流は問題ない。	D	その他
99	249	補助金のお金はどこから発生するのですか？	D	その他
100	274	職員の育成とありましたが、この職員は窓口の相談、市民の参加促進以外に何を行なっていくのですか？	D	その他
101	363	学校から駅に行く際、叡電八幡前周辺の街灯が暗く、人も通らないので怖いです。 また、道が狭いため車などと接触する危険性があるのでガードレールなどせっちしていただきたいです。	D	その他

V 計画を着実に進めるための推進体制

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
1	21	理念の素晴らしい計画だが、それだけでなく、計画である以上目標値があってもいいのではないか。	A	具体化
2	78	「計画を着実に進めるための推進体制」の項目のみ他の項目と比べ概念的で具体性・現実性に欠ける記述が多いように感じます。例えば、取組1における「変革に挑戦する組織づくり」というのは、述べるのは簡単ですが、これまで培ってきた組織体制を変革するという部分において非常に難しい課題です。「成果の見えにくいことへの挑戦」というのも素晴らしい取り組みだとは思いますが、具体的にどのような取り組みのことを指すのか、また後にどのような方式で評価するのか、その部分が曖昧である印象を持ちます。全体的に明確で具体性のある素晴らしい骨子案であるからこそ、その実行力となる「推進体制」の記述を明確にし、具体的な取り組みを挙げる必要があると考えます。	A	具体化
3	195	大きな計画の概要なので細かい事業について記載されていないのは分かるのですが、別冊でも具体的な事業について提示がないとあいまいな賛成しかできないように思います。	A	具体化
4	310	社会情勢の変化とともに目まぐるしく変わる情報・課題をより多くの市民と素早く共有するためには具体的にどのような取り組みが必要だと考えていますか？	B	具体化
5	354	公務員が挑戦的な活動をできるようになるのでしょうか？そのような文化のない組織が、理念だけを掲げていても実体を伴わない内容になると思います。	C	具体化
6	208	役所の中のことはもっと具体的に何をするのかを示してほしい。	C	具体化
7	18	コロナで状況が変わる今は、計画で事業を固めきるのではなく、より多くの人と共有できる考え方や理想を示し、柔軟に対応出来るものにしてほしい。	B	計画の方向性・期待
8	101	出来るだけ多くの市民の声、意見を取り入れる為にはすごく良い案だと私は思います。市民の関心を市政への参加につなぐ機会の充実やきっかけを作る為に、市政参加の機会の充実や誰もが参加しやすいデザインを考慮し、市民のまちづくり活動の活性化を狙い、最終的には今より多くの京都市民が充実し、納得のいく市政の下暮らせる街づくりは、私の意見としては凄く良い計画案だと思います。	B	計画の方向性・期待
9	110	骨子案で特に重要視している学びや信頼を育む対話の推進、次世代につながる市民参加の裾野の拡大、協働による課題解決への挑戦は私自身も今最も必要だと考えていたので一致しています。	B	計画の方向性・期待
10	196	パブリックコメント自体が知られていないと思います。情報発信の方法を改善した方が良いと思います。	B	計画の方向性・期待

V 計画を着実に進めるための推進体制

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
11	358	この1年間の市政を見ていると、「市民との対話」という観点では、以下の事例が示すように、明らかに後退している。 ・市長への手紙の対応を一時的に停止し（そのこと自体はやむを得ないと思うが）、停止の周知も再開の周知も、極めて不十分であったこと。 ・市役所内部の情報共有不足により、市民への説明が不十分となっている案件が多いこと ・「問い合わせ先」が明記されていない広報が増えたこと ・オフラインの場が制限されたことについて、代替手法の展開が十分ではないこと ・各局・区の運営方針が策定・公表されなくなること また、「行財政改革」という観点では、原理的に市民参加が制限されやすい。 （そもそも地方自治における直接請求の対象外の分野） とすると、本計画の中で、さらなる後退の懸念を払拭する具体的な手法がほしい。	B	計画の方向性・期待
12	56	市役所と組んでソーシャルな仕事をしたいです。	C	計画の方向性・期待
13	359	パブリックコメントの運用について、いくつか課題があると感じている。 一つには、パブリックコメントの目的を勘違いしている傾向が見られること。市会の委員会の議事録を見ても、その数や賛成・反対を問う質問が多く、目的が理解されていない様子が伺われる。行政側でも、数だけで評価する傾向が強い。 多様な視点・意見を確保する目的からすれば、同じ意見が多くある場合よりも、多様な意見があった場合を評価すべきであり、特に行政側が気付いていなかった意見が寄せられた場合に、パブリックコメントの効果が最大に発揮された、と評価される。 議員の方をはじめ、市民の方の認識を改めていくのは難しいことではあるが、各計画・事業の担当部局からではなく、市民参加推進担当部局から適宜、パブコメの意義・目的を伝え続けること（各計画・事業の担当部局から伝えと、各計画・事業に対する評価と、パブコメの評価が混じってしまうので）、パブコメで新たに寄せられた視点の公開を癖づけることといったことは直ぐにでも着手できると思う。	C	計画の方向性・期待
14	172	職員が地域社会へ出て活躍することも推奨している計画で、望ましいことだと思う。推奨するからには、地域に出た職員を評価する制度もしっかりと構築してもらいたい。	A	職員・体制
15	10	役所の人と話をしたことが新鮮だった。仕事の立場を外して社会のことを話せる場があれば、私たちの意識も変わると思った。そうした取組をもっと進めてほしい。	B	職員・体制
16	241	職員の実践的な育成をすることとは、一人一人が街づくりに貢献しようという意識がより深まると思うのでとてもいいと思います。	B	職員・体制
17	377	行財政が厳しいと聞くと、そういう時に経費の削減や職員の削減も想定されると思う。地域との対話やより沿う支援のところが減らされるのでないかと懸念する。デジタル化などで定型的なものは機械に置き換えできるかもしれないが、まちづくりのための対話や信頼関係づくりのためには、市職員の関わりやそういう職員の育成が重要である。	B	職員・体制
18	13	信頼を築くには一緒に活動することだと思う。住んでいる場所の町内会に限らず、職員の方にはどんな形で、社会活動に参加してほしいと思う。	B	職員・体制
19	125	推進体制の点では「最も身近な区役所・支所における協働を支援する役割」や「市民参加を実践する職員の育成」といった区役所やその職員を変える事も大切だけど、例えば市民参加のために区役所に来る人の数を増やすための体制を整える事も大切だと思う。	B	職員・体制

V 計画を着実に進めるための推進体制

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
20	170	取組2に関して：区民にとっては区役所職員の顔は見えるが、市役所の職員の顔こそ見えにくい。区職員の顔を通して、市役所職員の顔も見える（市役所で取り組んでいることが分かる）と、市政に協力しようという気になれるかもしれない。	B	職員・体制
21	376	行政や市職員が、まちづくり活動をする者に、しっかりと寄り添う姿勢が大事ではないか。例えば、様々な複雑な支援制度（補助金等）について、市民や地域、活動団体は理解するのは難しい。単なる受付窓口ではなく、支援制度の活用策のアドバイスなど、市民や地域に寄り添ったプラスアルファの部分がほしい。顔の見える関係で、地域やまちが良くなるためのプラスアルファの部分を見出すことができれば、市民の信頼も高くなると思う。	B	職員・体制
22	459	市民が市政参加に主体的に進んで取り組むのが理想だが、職員が地域に出向くことによって、市民も心を開き情報を受け入れやすいと思う。また、職員側からも出向くことによって、多くの市民の方の意見やアイデアを聞くことができるというメリットがある。仕事や育児で忙しい方など、市政参加に興味はあるが、参加するのが難しいという方にも、職員の方から歩み寄ることが大切だと考える。私も実際に大学の授業で京都市職員の方のお話を聞くことで、京都市が取り組んでいる内容に興味が高まった。	B	職員・体制
23	348	京都市職員自体、もっと地域自治活動に積極的に参加すべきでは？	B	職員・体制
24	70	具体的にこの課題とか、この制度と決まっていないモヤモヤについてや、はっきり決まっていけないけど地域でやってみたいこと等を相談したい。そういう話を聞いてもらえる市役所、区役所であってほしい。	C	職員・体制
25	152	計画を着実に進めるための市役所の体制についてだが、1年ごとに、計画がどれほど達成できたか実感できるかについて市民にアンケートをとるなどといった、市民へ対して達成状況への考えの調査を行う体制を作ればより良いと思います。	C	職員・体制
26	198	職員と市民との距離が近いのは大変良い事と思います。ただ、市民と市職員との間を取り持つ中間組織もたくさんあり、住み分けが出来ていないところもあるように思います。	C	職員・体制
27	337	市民参加を実践する職員の育成について。計画を着実に進めるには、専門性の高い人材が必要だ。まちづくりの現場は常に人手不足だと感じる。市役所の職員の能力を高めるだけでなく、民間の視点を持った働き手、NPOなど諸団体との連携が必要。その際、ある程度の待遇を保障しなければ、いい人材は集まらない。	C	職員・体制
28	355	区役所にいる方が、地域社会に入って実際にまちづくりに関わるのは仕事なのでしょうか？仕事ではない場合、一社会人として入ることは他の方よりも心理的ハードルが高いように思います。より気軽にまちづくり活動に関われる仕組みが必要だと思います。	C	職員・体制
29	362	市民参加の仕組みが効率的、効果的に運用される必要があると思います。最近はオンラインの進歩や働き方改革、ワークライフバランスなど言われていて、市やまちづくりの現場でも積極的に取り入れられるべきだと思います。	C	職員・体制
30	365	取り組み2にある、区役所の機能強化をもっと進めてほしい。しみせんやいきせんなど遠いところにある人が区役所なら行きやすい。各区ごとの課題や特性も違う。いつでもだれが来ても大丈夫なサロンのような場所、子育てや介護のことを気軽に相談できる場所、みんなが持っている力をシェアしあえるネットワークづくりを区役所を中心に構築して、市民の有用感を高め、子どもからお年寄りまでみんなが力を発揮できるまちづくり、市民参加をすすめる取り組みを行ってほしい。	C	職員・体制

V 計画を着実に進めるための推進体制

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
31	368	内容はとても素晴らしいものですが、実際に事業を行う部署（局）が市民参加の意識をもって事業を行う保証がありません。 特に、市民に最も身近な区役所・支所での実施が大切だからこそ、推進体制の取組2として強調していると読み取れるのですが、「支援」という記述にとどまっているのが残念なところ。区役所・支所が市民参加を進める主体として動く、というレベルの記述にできるように、市役所と区役所・支所との連携を期待します。	C	職員・体制
32	190	まちづくりをの手法としては、いろいろな手法があるかと思いますが、区役所などが窓口となっているものや、都市計画や景観など都市計画局が窓口となっているものがあると思います。そういった窓口に関しても一元化されることも視野に入れて検討したいです。	C	職員・体制
33	294	職員の数は何人ですか。	C	職員・体制
34	336	京都市と住民が協働した「防災まちづくり」など、行政はいつまで支援をするかが気になる。京都市の防災まちづくりは3年で計画を策定するパターンが多い。行政が離れた後は地域の人達だけで自走できるようになってほしいが、地域の担い手不足・高齢化が進み、まちづくりのモチベーションを保つのは簡単ではない。計画書を作った後も、地域が本当の意味で自走できるよう、さらにきめ細やかな対応が必要だと思う。	C	職員・体制
35	347	まちづくりアドバイザーの役割。区の基本計画づくりの支援員？まちづくりの会議等に時々来ても、何のために居るのが分からない。参加する時と参加しない時があったり。	C	職員・体制
36	460	ファシリテーターの育成をすることは大切だと思う。ファシリテーターが増えることで、対話がしやすい場づくりができる。対話をしていると、話の目的を忘れてしまう時がある。その目的を忘れずに、対話を円滑に進めてくれるファシリテーターがいると時間の短縮にもなり、話が進みやすい。私もファシリテーターの役割を理解して、実際に対話してみたいと思う。より多くの意見やアイデアを得るためには、ファシリテーターは欠かせない役割だ。職員の方が大学への出講だけでなく、中学校の授業でファシリテーターの役割を教えたりするなど、若いうちから市政参加に興味を持ってもらうためにも必要だと思う。今後市民の皆さんが年齢関係や立場など関係なく、ファシリテーターの役割を担えるようになればいいと思う。	A	裾野拡大
37	309	若者の市民参加や市政への意識を変えるために今最も変えるべき仕組みはなんだと思いますか？	C	裾野拡大
38	182	全体的に、「多様な主体」ということばができますが、外国人住民や外国にルーツのある日本人なども入っていますか？ 市民参加のいい仕組みが京都にはあるので、そういう仕組みをより多くの方に使ってもらっていいまちづくりができるようになればいいなと思っています。	A	定義・文言・図
39	272	京都市のこれからの3つの方針が動画を見て少し理解することができました。しかし、動画にあまり変化がなく専門的な観点が多かったので、少し伝わりにくいなと見ていて感じました。	C	定義・文言・図

V 計画を着実に進めるための推進体制

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
40	6	<p>SDGsについて、市民参加が目標17であるように記載されているが、17はグローバルパートナーシップであり、国内の市民参加ではない。</p> <p>国内の市民参加は目標16である。これは目標17のロゴに「パートナーシップで～」と記載されているため勘違いされることが多いので注意が必要である。</p> <p>目標16は、「環境と開発に関するリオ宣言」の第10原則がもとになったものであり、司法及び行政アクセスを含む市民の参加を指す。</p> <p>なので、推進体制の図の中心に来るのは目標17ではない。SDGsは全ての目標が関連しあって目標を達成するものである以上、どれかが中心にあるというのはどうかと思う。</p> <p>他都市でも17を市民参加としていることが多いが、他都市が間違っているのであって、SDGs先進市、全国1位の京都市がそこを間違えてはいけない。</p> <p>国際的に見られると「え?」「ん?」「なんで市民参加が17なの?」と不思議に思われます。</p>	C	定義・文言・図
41	346	<p>こうやってみて初めて知ることが多い。発信していて調べるとわかるが、普通に生活しているとなかなか知ることがない。確実に京都市が行っている市民参加をより詳しく伝えていくべきだ。伝える方法がないことが問題だと思う。</p>	C	未来像・課題の共有
42	273	<p>市民参加のマネジメントを組み込むのはいい計画だと思いますが、初めて各局の方針を見た人は理解しにくいと思います。具体的にこの推進企画はどのような方法で市民の元にわかりやすく伝えるのですか?</p>	C	未来像・課題の共有
43	197	<p>京都市のホームページはとにかく分かりにくいと思います。改善を望みます。</p>	C	その他
44	229	<p>環境面で何か配慮していることはあるのか。</p>	D	その他
45	274	<p>職員の育成とありましたが、この職員は窓口の相談、市民の参加促進以外に何を行なっていくのですか?</p>	D	その他

● その他

【A 反映させる B 記載済み、趣旨に含まれる、C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
1	31	審議会からの提言書を見て、より詳しく成果や課題が理解できた。骨子案だから一定省略されているのだと思うが、計画を作成される際には、そのような課題認識や背景について、詳しく記載したほうがよいと感じる。	A	課題・背景
2	98	本件計画それ自体の制定に市民の参加があったのかについてもお伺いしたいと思います。	A	課題・背景
3	174	計画モノに関しては、前5年間の取組がどうだったかを分析し、だからここをこうしていくという中期・5年規模の計画・目標と、もっと長期の達成すべき姿を示すことが分かりやすいと思うのだが、今回の骨子案は第一回目の計画のごとく読ませていただいた。それなりによくまとまっていると思うが、過去の取組を総括してこうしていくということが示されていないのは残念である。過去を振り返らずして果たして実行・実効力あるものになるのか不明。	A	課題・背景
4	239	「京都市市民参加推進計画」はこれまでに4回作られていることが分かりました。その4回で内容はどんなふうになってきているのかと、その結果、どんな効果や変化があったのか、知りたいです。	A	課題・背景
5	28	「市民の方のこういった声によって、行政はこう変わりました!」という具体的なアピールがもっと必要ではないかと思う。	B	課題・背景
6	451	示されている内容が「骨子案」の性質上、当然なのだが、理想的・定性的である。これから策定される「推進計画」においては、「推進」場合においては「後退」も含めて、定量的に測定可能な指標を設定し、またその具体例を「コラム」のような形で示すような「計画」の進捗状況が、市民目線で分かる工夫を、ぜひともして頂きたい!!	A	具体化
7	186	計画であるにもかかわらずいつまでに何を行うのか示されておらず、これならば計画というよりも方針というべきではないでしょうか。	A	具体化
8	187	各施策も、それぞれ具体的に何を行うのかが例示されていないため、そもそも市民参加に馴染みのない多くの市民にとっては内容を理解することが難しいのではないのでしょうか。例えば、背景の説明であれば一般的な事柄だけではなく京都市における変化や課題を示すとか、施策であればこれにより何々ではこういうことができるようになりますよ、といったことが記載されれば、市民に身近に感じられる（到達）のではないかと思います。ぜひ改善をお願いします。	A	具体化
9	201	具体的に何をするのか、何をすればいいのか	B	具体化
10	189	既存の地域コミュニティである自治会、PTA、体振といったものが既に制度疲労を起していると思われる中で、京都市がそれらの仕組みを前提とした仕事を変わずに行っていることの課題意識が見えないこと、市民参加の一つである議会との関係について何一つ触れられていないことについては疑問を感じます。市民参加、地域コミュニティの活性化を推進するに当たり、これらは大きな課題だと考えますので、京都市としてどう考え、取り組むのか、計画に明記することを希望します。	C	具体化
11	188	それぞれの施策を実施することによるプラスとマイナスの面が記載されていませんが、メリット・デメリットをそれぞれ踏まえたうえでの内容であることを示した方が、より政策的と言えるのではないのでしょうか。現在話題となっている財政難の課題についても同様ですが、行政にはそのような説明責任が求められるものと思います。	C	具体化
12	367	現計画策定後の主な取り組みとして、対話型パブリック・コメントの推進によって多くの意見が集まったことは京都市ならではの成果といえる。もっとパブコメを市民に知ってもらう機会をつくり、意見を出してもらう、またまちづくりに関わるきっかけづくりとして、講演会や研修など取り組んでほしい。	B	計画の方向性・期待

● その他

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
13	384	もっとパブリックコメントを親しみやすいものにすれば直接政治に繋がると思った。	B	計画の方向性・期待
14	9	行政が目標をつくり事業を進めるのは良いが, 参加やまちづくりは飽くまで自主的なものでないといけなと思う。参加の意思がある人が参加しやすい仕組みや, 自主性が生まれるような取組であってほしい。	B	計画の方向性・期待
15	14	内容に共感する。こうした計画を広く共有することで, 仲間の輪を広げていってほしい。	B	計画の方向性・期待
16	17	コロナで人とのつながりがなくなって不安。今だから誰かとつながりたいし, まちづくりは目的が共有できると思う。市政参加も含め, メニューが沢山あればいいと思う。	B	計画の方向性・期待
17	39	外国人の方とも協働してみたい。	B	計画の方向性・期待
18	40	地域に誇りを持ってない人や貧困層や外国籍の方にも, 市民参加を広げてほしい。	B	計画の方向性・期待
19	77	骨子案に関するパンフレット, およびYouTube上における解説動画を閲覧させていただきました。全体的に最終的ビジョンが明確であって, その実現に関する道のりも段階別に考えられている印象を持ちます。	B	計画の方向性・期待
20	184	市民協働に関する京都市の前向きな姿勢が十分に感じられるとともに, 市民理解を前提に市政参加とまちづくり活動支援を軸とする基本方針を立てている点は構成として分かりやすく思いました。行政内や市民に浸透できるようがんばって取り組んでいただきたいと思えます。	B	計画の方向性・期待
21	423	こう言う活動することは政治などに興味を持つきっかけにもなるし, ちゃんとまちづくりについて考えられていてとてもよかった。こういう事業をもっと知ってもらうように, 興味を惹かれるようなことを多くすればより良くなるのではないかなと思った。	B	計画の方向性・期待
22	437	少しの気遣いが京都市を良くしていくということがわかった	B	計画の方向性・期待
23	388	今までの文化を守りつつこれからも他の県に負けないような街を作って欲しい。いろんな技術を取り入れる。	B	計画の方向性・期待
24	22	記載内容に取り組むためには少なからず経費が必要なはず。財政の今後について考えておられる中, 先にプランを策定しても実現が難しいのでは。なせ今つくるのか。市トータルの整理はどうなっているのか。不誠実。	C	計画の方向性・期待
25	371	パブリック・コメントの制度が意見の言っぱなしにならないような工夫がある。きっちりと政策に反映されるなど, 行政の反応が分からないと意見を言う気にならないと思う。成果が見える形にしてもらいたい。	C	計画の方向性・期待
26	372	意見を言う制度については, 記名式のものも取り入れてよいのではと思う。その方が言った意見について市民も責任を持つし, 行政も責任をもって対応し, 対話するきっかけともなるのではないかな。	C	計画の方向性・期待

● その他

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
27	467	パブコメを2～3月にやるだけで市民の意見を聴いたということにするのはどうかと思う。	C	計画の方向性・期待
28	418	中学生でも参加できるということを知って積極的に参加したいと思った。	C	計画の方向性・期待
29	7	お金がないから市民を頼るのはおかしい。しかし、お金がないからこそ一層市民と共に歩む姿勢は必要だと思う。そうした行動が生まれるような計画にしてほしい。	C	計画の方向性・期待
30	25	例えば、「地域の高齢者の皆様が相互に支え合うまちづくりをすすめる」ために実施されている「地域支え合いボランティア活動助成事業」を効果的に実行するために、「市民参加推進条例」を活用する方策を考える仕組みが「骨子」に盛り込まれれば、より市民に親しまれる「条例」や「推進計画」になると考えます。	C	計画の方向性・期待
31	216	行政計画への市民等の意見の反映について、いわゆる「パブリックコメント」による文書での提出が主流となっているように思える。又、他の方法として「公聴会」等もある。どうも市民等の中には、「意見を口頭で述べる」ことはしたいが、「文書による提出」は、いわゆる苦手という方や、色々な事情で難しい方もおられると考える。これらの事例への対処についてどうするのかを検討し、「ルール」として明確化した方がよいと思う。	C	計画の方向性・期待
32	219	いくつかの「計画」を策定している担当者の方から、「パブリックコメントを出して下さい」とお声かけ頂いたことがある。一方、区役所の冊子が並んでいる。いくらひまでも、全ての冊子に目を通して意見を何か書ける程度に読み込める市民・住民は、そんなには多くはないと思う。市役所レベルでの市民・住民への情報の到達と市民・住民の声を各計画策定へ反映させるための新たな方策を検討することも次期計画の中で検討されてもよいのではないかと考えます。	C	計画の方向性・期待
33	305	「市政参加」や「まちづくり活動」についての内容はわかりやすいけれど、それに参加してどんないいことが出来るのか、どんなふうに変えていくことが出来るの？イメージしにくかった。	A	実感・メリット
34	37	市民参加についてメリットが伝わる方がよい。子育て世代のつながりづくり、企業にとって次世代人材の確保、高齢者には健康増進・生涯学習になるなど。	B	実感・メリット
35	27	行政に意見を言っても何も変わらない＝パブコメも制度だからやっているだけというイメージが払拭できない。	C	実感・メリット
36	66	私の日々の生活は、私を取りまく制度や政策・施策を土台として成り立っています。「市民参加」を推進すると、私の日々の生活がどのようにに充足したものになり、私が住み続けたい京都市となり得るのが大きく示されれば、コロナ禍を乗り切るための希望につながる計画となるのではないのでしょうか？	C	実感・メリット
37	99	本件計画では、特段市民参加に対してメリットが示されておらず、市民参加したい！という誘因がないように思われます。今後どのような点を誘因として市民参加を進める予定でしょうか。	C	実感・メリット
38	302	これをする事による具体的な意図は何ですか？	C	実感・メリット

● その他

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
39	11	行政の人と話をしたが新鮮だった。立場を外して社会のことを話してもらえると刺激を受け、こちらの意識も変わる。そうした機会があると良い。	B	職員・体制
40	376	行政や市職員が、まちづくり活動をする者に、しっかりと寄り添う姿勢が大事ではないか。例えば、様々な複雑な支援制度（補助金等）について、市民や地域、活動団体は理解するのは難しい。単なる受付窓口ではなく、支援制度の活用策のアドバイスなど、市民や地域に寄り添ったプラスアルファの部分がほしい。顔の見える関係で、地域やまちが良くなるためのプラスアルファの部分を共に見出すことができれば、市民の信頼も高くなると思う。	B	職員・体制
41	190	まちづくりをの手法としては、いろいろな手法があるかと思いますが、区役所などが窓口となっているものや、都市計画や景観など都市計画局が窓口となっているものがあると思います。そういった窓口に関しても一元化されることも視野に入れて検討願いたいです。	C	職員・体制
42	38	子どもは支援される側になりがちだが、コロナもあるため、例えば高齢者にインターネット講座を小中学生が先生になるなど次世代のボランティアの育成を進めていけそう。	B	裾野拡大
43	43	現在の市民参加について、具体的な活動としてワークショップや市民公募委員、市長への手紙等があるが、ワークショップや意見交換の場はザ！行政という感じがして安易な気持ちで参加ができない。また、ちゃんとした意見を言わないといけないという雰囲気や壁を感じる。	B	裾野拡大
44	47	京都市は若者の参画を施策として挙げているが、中高生にとって市政参画は自分たちの現状とはかけ離れている。したがって市政、街づくりのイメージ、そして興味あるいは何らかの形で中高生がそれらにかかわれる機会を設けることが必要不可欠だと考える。また中高生の大半は学校と家の往復により一日が終わる。したがって自分の興味や関心、価値観は所属する学校の方針や教育から受ける影響が大きい。またそもそも部活や外部でのスポーツ活動等を盛んに行なっている中高生は市政やほかのものに向ける時間の確保が難しい。したがって学校の授業の一環としてあるいは課外活動として取り入れていくことはいいのではないかと。より具体的に言うと、例えば各学校の生徒会役員とのタイアップ、学校現場の実情のヒアリング、また授業等でい役所役員たちの自分たちの職業紹介をしてみるとかプレで市役所役員のお仕事体験とか、もっと言うならば例えば亀岡や桂川周辺地域が急速に発展してきているという事実を含めどんな施設、場所、雰囲気になればいかなどをワークショップとして中高生を対象に開催してみて、それを実際の町づくり案として市が実現していくとか、自分たちにとって身近な地域の変化が可視化していけるようなことをやってみたりなど行政が身近な存在として歩みよっていくことが必要なのではないかと思った。また学校にとらわれず、中高生の利用率が高い図書館、ユースセンターまた大型ショッピングモール、またマクドナルドなどの飲食店などでのポスター、イベントの宣伝あるいはイベントの開催、アンケート調査などを行うことで若い世代の参画を図っていくことがとくさくなのではないかとと思う。	B	裾野拡大
45	227	1番驚いたのが市民参加についてです。今までは市政参加が自分の中でイメージが強く、私たちがのような学生、子供には関係ないと思っていました。ですが、まちづくり活動だと私達のような学生でもやりやすいと思います。私のような学生が積極的に市民参加するにはどのような解決策を考えていますか。	B	裾野拡大

● その他

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
46	124	京都には沢山の学校があるので、今回の様に学校と連携した取り組みを進めた方がより現実的かつ効果的だと思う。そうする事で、多くの学生からの意見を集めることができ、学生にとっては市政参加の経験にもなるので良いと思う。	C	裾野拡大
47	440	政治に関心がない人にガイダンスのようなものをしてほしいと思う。	C	裾野拡大
48	214	冊子7頁「基本方針3」「施策10」に「多様な主体が協力することが求められている」とある。「協力」と「動員される」とは全く異なったことであろう。協力する目的や方針が検討される審議会等の構成メンバーのほとんどが業者団体の代表と地域団体の代表であるものをしばしば見かけるが、構成メンバーのあり方も次期計画では検討の対象としてもよいのではないのでしょうか？	C	裾野拡大
49	44	市民が市民参加やまちづくりに参加することは条例で決められているが、条例で決められているからやるのが前提ですという説明では、しんどい家庭や忙しい人はなかなか参加しにくいし、条例なのでと言われることは1番行政っぽくて市民が嫌うことだと思う。	C	裾野拡大
50	191	市民参加型のまちづくりを推進するものではありませんが、意識の高い方や、専門家ではない市民だったとしても、ある程度専門的知識を有する方が集まり、そういった一部の方々の市民参加になっているように見えます。そういう市民参加に率先して参加しない市民も身近な生活の中で、いろいろの意見は持っていると思いますので、そういった意見を吸い上げる方法や、意見を言えるハードルを下げる工夫、また、このパブコメの冊子もそうですが、文字が多く、読むのも理解するのも大変で、パブコメに意見を出すこと自体のハードルが高いと感じますので、ご検討いただきたいと思います。	C	裾野拡大
51	350	私は市外在住ですが、自らの住む自治体の施策や課題等について、ほとんど何も知りません。また、どのような市民参加の機会があるのかも知りません。これは、行政側の発信の問題だけではなく、私はその情報に能動的にアクセスしていないことも原因だと思います。共働きで子育て中のため、平日は時間がなく、休日はできるだけ子供達と過ごしたいのが、正直なところです。なので、なかなか市民参加と言われてもハードルは低くありません。一つは、市政情報を市民に到達させることも大切ですが、市民が自らアクセスしやすくなるようなインセンティブを働かせることも重要ではないかと思います。その上で、時間に余裕がなくても参加しやすい仕組みを工夫するのが良いと思います。一方、参加には責任を伴いますが、参加のハードルを下げることで、無責任化しないようにすることも大事だと思います。	C	裾野拡大
52	381	こういうことにあまり興味を持っていない人がほとんどだと思うので、興味を持ってもらえるようにもっと工夫をするべきだと思う。	C	裾野拡大
53	385	学校や駅などに目安箱のようなものを設置して欲しい。	C	裾野拡大
54	387	目に届くような場所にパンフレットやポスターを貼ったりプレゼンなどをして市民参加に興味を持ってもらう。	C	裾野拡大
55	390	何かキャラクターつくる。参加すると割引クーポンがもらえるなど	C	裾野拡大
56	397	京ばぶの動画を京都市公式か京都府公式のチャンネルでアップしてほしいと思う。	C	裾野拡大
57	398	YouTubeでもらった意見をラジオみたいに返信するコーナーがあれば、意見を送ってみたいくなるかも。	C	裾野拡大
58	405	YouTubeだけでなく、他の方法を使って市民にもっと広まったほうが良いと思いました。	C	裾野拡大
59	428	京都の老舗などとコラボしても面白いかもしれない	C	裾野拡大
60	429	もう少し知名度を上げ、貴重な土日の1日を潰してもいいぐらいの大きな楽しいイベントをし堅苦しいイメージを緩和する	C	裾野拡大

● その他

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
61	471	目の前のことを片付けるのに必死で、先のこと考える余裕がない。その中でオンラインのバブコメの場に挑戦してみた。	C	裾野拡大
62	171	全体的に一文が長く、修飾語が多用されていて本当にいいことが分かりにくく残念（短文の項目名と合わせて理解しようとした）。盛り込みたい内容が多いということは理解できるが、一般市民にも読ませたいのであればもう少し簡潔な文章にならないだろうか。	A	定義・文言・図
63	185	まちづくり、協働、市民力、地域力、SDGs、DXなど、行政にとっては当然でも一般にはまだまだ浸透していない言葉がかなり多く用いられ、読みづらく感じます。	A	定義・文言・図
64	112	全体的に見やすく理解しやすかったです。	B	定義・文言・図
65	126	骨子案の冊子や分かりやすく動画にしている点など凄く工夫が施されていて、僕が京都市民だったらとても嬉しいなと感じました。その工夫や努力が京都市民に広まる様に頑張ってください。	B	定義・文言・図
66	297	一話の時間がちょうどいい感じで、見やすかったです。	B	定義・文言・図
67	325	バブコメのリーフレットを一読した印象は、「市民参加」にしては、とっつきにくいというものでしたが、Youtubeにての説明は親切で、分かりやすいもので、良い試みだと思いました。	B	定義・文言・図
68	45	市民参加推進計画を読み解ける人でないと、コメントをすることさえできないのではないかと。(例えば障がいのある人等…)	C	定義・文言・図
69	121	YouTubeを使った宣伝に関しては、取り組み方によっては良くも悪くもなると思う。コメント欄を使った意見募集は純粋に考えたら良い提案であるが、誰でも気軽にコメントできる反面、その意見の信頼性や本気度まで咀嚼することはできないのではないかと。そして動画の体裁であるが、わかりやすく訴えかけたい面と実際の内容の難しさのギャップで、どの層を、ターゲットにしているのかいまいちわかりにくくなっている気がする。	C	定義・文言・図
70	277	文字が見にくい	C	定義・文言・図
71	306	テロップ?が単調で見て飽きてくるような気がする。図や資料を入れたり伝えたい部分を強調した方がいいと思います。	C	定義・文言・図
72	46	YouTubeに関しても、ただ計画案の文章をYouTubeに落としているだけでわかりづらく感じた。YouTubeの特性を活かして、絵や図や映像を使用して広報等を行う方がよいのではないかと。	C	定義・文言・図
73	373	対話することで、話が深まっていったり、物事がほったらかしにならず進んでいくことにつながるのではないかと。	C	未来像・課題の共有
74	5	市民が市政に参加するには、土日を含めて役所が開いていて、役所に行きやすくすることが大切だと思います。 役所からの情報発信はまだまだだと感じます。市のホームページでは、数年前のままのページがあったり、整理できていなかったり、知りたい項目になかなかとりつけなかったり。そこはこの計画では別にどうでもいいようですね。 この計画では具体的にどのようなことに市民参加するべきか、よくわかりません。何度も議論していたり、これまで役所と付き合いのある方しか、この計画を理解できないのでは。なので、市民参加が計画通りに進めばどうなるのか、という未来像を示していただければ、わかりやすくなるのではないのでしょうか。	C	未来像・課題の共有

● その他

【A 反映させる B 記載済み, 趣旨に含まれる, C 推進にあたっての参考 D その他市政運営の参考】

番号	意見 No.	コメント	種別	種別
75	116	市民意見の募集についての要項について、配布・閲覧場所に少し疑問を抱きました。より広い人々に見てもらう必要があるのであれば、SNSに載せるだけではなく、それをどう広めるのが重要であると考えます。	C	未来像・課題の共有
76	465	学生にパブコメ骨子案冊子を見せても知らないとのことだった。知らない人を減らすために配っている。いいこと書いていても届いていないと意味がない。	C	未来像・課題の共有
77	468	京都市はSDGs,SDGsというが市民に具体的に分かるように発信する必要がある。もっといろんな場面で発信し、意見を聴く場を作ってほしい。市長やマスメディアでの発信も強化する必要がある。	C	未来像・課題の共有
78	26	行政に積極的に関わっている市民＝プロ市民というイメージが払拭できない。	C	その他
79	135	参考の欄にある策定後の主な取り組みにおいて、現状既に参加している市民の方の世代別や性別がデータでもしあれば、見たいと感じました。	C	その他
80	255	どのように私たちの案は明確になっていきますか？どこまで大人たちの空間に入ることができるのでしょうか。	C	その他
81	256	動画の面白くない。伝えることを並べただけ。	C	その他
82	298	なんかまちづくりって難しそうだけど、玄関周りを掃除するだけでもまちづくりというのに興味を持ちました。他に、小中学生でも出来そうなことってどんなのがあるんですか？	C	その他
83	324	「市民参加推進計画」は、「市民参加推進条例」に定められている条項を、市政運営において実現させるために策定するものであろう。ところが、現状を見ると、例えば「京都市高齢者施策推進協議会」等において、条例に従った附属機関等の運営が行われていない事案が発生している。「学び」や「信頼」をはぐくむ対話の推進を通じて、再発防止という課題に挑戦を実践するための制度の創出が必要であると考えます。	C	その他
84	395	京都特有の日本家屋と現代的な建物を融合した建築物を街に並べて欲しいです	C	その他
85	421	京都市がどういう活動をしているのか全然知らないので提案とか意見とかないです。	C	その他
86	97	本件計画と二元代表制、直接民主主義の連関についてお伺いしたく存じます。	C	その他
87	400	議員さんたちは高齢な方が多いと思うので、もっと若い人を増やせば時代に取り残されることはないと思います。	D	その他
88	327	観光都市として、この数年間国内外問わず京都には多額のお金が落ちているにもかかわらず財政難になっている原因が何なのかの検証されていない。併せて古都税導入の復活を提案する。大規模寺院・神社からの税金徴収すべき。	D	その他
89	342	このコメント欄、下書き保存できるようにしてほしいです	D	その他
90	349	市民参加の名のもとに、住民への負担を増やさないとを望みます。	D	その他
91	413	市営の交通機関と民営の交通機関がもっと連携していくべき	D	その他
92	435	コロナのことを不安に思っている人たちに寄り添うような政治をする	D	その他
93	439	京都のニュース番組で「まちづくり」について報道する。	D	その他
94	447	中学生が作った作品をふるさと納税のような制度で売る	D	その他